Kodak

ScanMate i1150WNスキャナー およびi1190WNスキャナー

ユーザーズガイド

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance（米国テキサス州オースティン）の登録商標です。

サードパーティーライセンス

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

Copyright (C)2009-2013 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全性について

ユーザへの注意事項

- スキャナは 3.2 kg (7 lbs) の荷重に耐えられる安定した、平らな場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾燥した場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 電源アダプタがコンセントに接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを傷つける、結ぶ、切る、改造などはしないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーに付属の AC アダプタのみを使用してください。スキャナーの AC アダプタを別の製品で使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを設け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外し、Kodak Alaris サービスセンターにご連絡ください。
- スキャナーや AC 電源アダプタを分解または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインターフェースケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨する清掃手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート（SDS）は、次の Kodak Alaris のウェブサイト (www.kodakalaris.com/go/sds) で入手できます。ウェブサイトから SDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。
- このデバイスは表示装置の作業環境で表示のダイレクトフィールドでの使用を対象としていません。表示装置の作業環境で妨げとなる反射を避けるため、このデバイスを表示のダイレクトフィールドに置かないでください。

環境に関する情報

- *Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーと *Kodak* i1190WN スキャナーは世界中で使用できるように設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。リサイクルやリユースについては、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は、www.kodakalaris.com/go/scannerrecyclingを参照してください）。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用、リサイクルを行うように設計されています。
- *Kodak ScanMate* i1150WN および *Kodak* i1190WN スキャナーはエナジースターに準拠しています。工場出荷時には、デフォルトで 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合（EU）



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。または、www.kodakalaris.com/go/ehsを参照してください。

REACH 規則 ((EC)No. 1907/2006) 第 59 (1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、www.kodakalaris.com/go/ehsを参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70 dB（A）以下]

EMC および無線規制声明

本機器には 2.4 GHz 無線 LAN モジュールがプリインストールされています（モデル：RTL8188EE）

室内での使用向け：本機器は室内での使用専用です。

電磁波曝露

注意：この製品の使用時、2.4 GHz の操作で放射源と人体間が最低 20 cm（7.9 インチ）の距離で設置及び操作する必要があります。このトランスミッタは他のアンテナやトランスミッタと並べて配置または操作しないでください。本機器の放射出力電力は通常操作時の電磁波曝露限界をはるかに下回ります。

アルゼンチンのユーザーへの通知：Acceso Inalambrico de Red
CNC C-10909

ブラジルのユーザーへの通知：“Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.”(ANATEL 282/2001)
Anatel: 1686-12-4076

カナダのユーザーへの通知 /Note à l'attention des utilisateurs canadiens:

室内での使用向け:本機器は産業省のライセンス免除RSSに準拠します。運用は次の2つの条件を前提にしています。

（1）本機器は干渉を引き起こさない。

（2）本機器は、本機器の望ましくない動作を引き起こす干渉も含め、任意の干渉を許容する必要がある。

Utiliser à l'intérieur.Le présent appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.L’exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1) l’appareil ne doit pas produire de brouillage;

2) l’appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d’en compromettre le fonctionnement.

本機器の放射出力電力は産業省（IC）の電磁波曝露限界を下回ります。本機器は IC 電磁波 (RF) 曝露限界の評価を受け、準拠しています。本機器は通常操作時に人体と接触する可能性を最小限にするよう使用する必要があります。

本機器はカナダでの使用を認可されています。産業省の REL（無線機器リスト）内のリストの現況は以下のアドレスで確認できます：http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

La puissance rayonnée de sortie de cet appareil est inférieure aux limites d'exposition à la fréquence radio d'Industry Canada (IC).Cet appareil a été évalué et jugé conforme aux limites d'exposition à la fréquence radio (FR) d'IC.Cet appareil devrait être utilisé de manière à ce que le risque de contact humain au cours d'un fonctionnement normal soit réduit.

Cet appareil est homologué pour l'utilisation au Canada.Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d'Industry Canada, rendez-vous https://sms-sgs.ic.gc.ca/equipmentSearch/searchRadioEquipments?execution=e1s1&lang=fr_CA

IC: 6317A-RTL8188EE

中国のユーザーへの通知：CCC、SRRC 認可（保留中）

CE

EU/EFTA のユーザーへの通知：弊社 Kodak Alaris Inc. はここに R&TTE (Radio and Telecommunications Terminal Equipment) 実装の本機器（ドキュメントスキャナー）モデル i1150WN & i1190WN が指令 1999/5/EC の基本要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。プリインストールされた 2.4 GHz 無線 LAN モジュールは EU でクラス 1 とみなされます。

日本のユーザーへの通知：Japan Telec:Realtek Semiconductor Corp.; RTL8188EE R:204-230024, T:D120135003

本製品使用前のご注意

電波利用が制限されている場所（医療施設など）では、その場所の指示に従い、ワイヤレススイッチをオフにして使用してください。電子機器や医療機器、植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）に影響をおよぼす場合があります。これは電波利用機器としての一般的な特性ですので充分ご注意ください。詳細は総務省のホームページをご確認ください。

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

マレーシアのユーザーへの通知：SIRIM QAS 認可先 (YY : XXXX)、認可番号 (XXXXXX)

メキシコのユーザーへの通知：“Este equipo opera a titulo secundario, consecuentemente, debe aceptar interferencias perjudiciales incluyendo equipos de la misma clase y puede no causar interferencias a sistemas operando a titulo primario.”
COFETEL: RCPRERT12-0647

ナイジェリアのユーザーへの通知：本通信機器の接続および使用はナイジェリア通信委員会により認可されています。
NCC/TSNI/WN/TA/CERT/0183/20

セルビアのユーザーへの通知：以下のアダプタは Ratel: RTL8188EE 1-01-3454-3359/12-4 により認証済みです。

シンガポールのユーザーへの通知：IDA 基準準拠：（*登録番号保留中*）

南アフリカのユーザーへの通知：ICASA 認証：TA-2013/374

韓国のユーザーへの通知：

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음
KCC-CRM-RTK-RTL8188EE

この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

台湾のユーザーへの通知：

台灣: 國家通訊傳播委員會
低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使
用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發
現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定
作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之
干擾。

CCAF12LP0641T6

タイのユーザーへの通知：本無線通信機器の電磁場強度は、国家通信委員会告示の「人の健康に関する無線通信機器の使用の安全基準」に準拠しています。

米国のユーザーへの通知：FCC：この装置は FCC 規則のパート 15 に従いテストされ、クラス B デジタル機器に関する基準に準拠していると認定されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。

この装置では、ラジオ周波数エネルギーが生成、使用、および放出されます。指示に従って設置して使用しないと、ラジオ通信に対する有害な電波妨害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合装置をオンオフにして確認は、以下の方法をいくつか試して問題を修正することをお勧めします。受信アンテナの向きまたは設置場所を変更する。2)装置と受信機との間の距離をさらに離す。3) 受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに装置を接続する。4) 販売代理店または熟練したラジオ／テレビ技術者に他の解決方法を相談する。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント/アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。
FCC ID: TX2-RTL8188EE

ネットワークパフォーマンスに関する声明、ユーザーへの通知：無線ネットワークおよび、それによるシステムパフォーマンスは他の RF ソースからの干渉、物理的障害、機器間の距離、相対的位置など複数の要因により悪影響を受けることを理解する必要があります。競合するネットワークトラフィックにより有線および無線両方のインターフェースのパフォーマンスがさらに低下します。

NTC

フィリピンのユーザーへの通知：

i1190WN スキャナーの場合は、検収証明番号に ESD-1612431C と入力
i1150WN スキャナーの場合は、検収証明番号に ESD-1612430C と入力

無線 LAN 環境で使用する場合のご注意

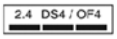
- 本製品と無線アクセスポイント / ルータは、できるだけ見通しの良い場所に設置してください。電波を遮る様な障害物（壁や金属製の板など）があると、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりすることがあります。
- 本製品は、お客様の判断と責任においてセキュリティ保護を考慮した無線 LAN 環境でご使用ください。セキュリティ保護のない無線 LAN 環境で使用すると、個人情報などの大切なデータが、第三者に漏えいする危険があります。セキュリティ保護のない環境で使用された場合や、特殊な方法でセキュリティを破られた場合など、無線 LAN 環境で発生する損害や情報漏洩が発生しても、当社では一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用周波数帯は 2.4 GHz 帯を使用します。この周波数帯は、電子レンジ、産業・科学・医療用機器、工場の製造ライン、およびアマチュア無線局などで運用されています。
  - 本製品を使用する前に、近くで同じ使用周波数帯が運用されていないことを確認してください。
  - 本製品を使用中に万一有害な電波干渉が発生した場合は、混信回避のための処置（使用するチャンネルの変更、設置場所の変更など）を実施する、機器の使用を停止する、または本体のワイヤレススイッチをオフにして電波を停止してください。

    ワイヤレススイッチを左にすると電波が停止します。
  - そのほか、電波の干渉などで何かお困りの際は、本製品を購入された販社 / 販売店またはコダックアラリスサービス＆サポートにお問合せください。

  本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線装置を内蔵し、証明ラベルは無線装置上にあります。

  無線設備上にあるラベル  の記載には次の意味があります。

記載	内容
2.4	2.4 GHz (2400 MHz) の周波数帯域を使用する無線装置です。
DS / OF	変調方式に DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
4	想定される干渉距離は 40 m 以下です。
■■■	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- 以下の使用環境の場合は、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなることがあります。
  - 本製品と無線アクセスポイント / ルータの距離が極端に離れている。
  - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジなど）の近くで使用する。
  - 近くに多数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用している。

電波法について

本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機能を搭載した装置です。本製品を分解したり、内部の回路などを改造して使用する事は、法律で禁止されており、お客様が罰せられることがあります。また、分解や改造によって発生するいかなる損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

概要 1-1

インストール 2-1

スキャン 3-1

メンテナンス 4-1

トラブルシューティング 5-1

付録 A & B

1 概要

目次

参考資料..... 1-2
同梱品一覧..... 1-2
スキャナーのコンポーネント..... 1-3

Kodak ScanMate i1150WN スキャナーと *Kodak* i1190WN スキャナーは個人およびデスクトップワークグループに最適なコンパクトな無線/有線ネットワークスキャナーです。

一連の原稿をスキャナーからモバイルデバイスへ直接スキャン可能な *ScanMate*+ モバイルアプリが両方のスキャナーモデルでサポートされます。また、スマートタッチ機能の搭載により、E メール、印刷、さまざまなアプリケーションへ原稿を送ることができます。

これらのスキャナーで近接タッチテクノロジーが用いられています。これにより、[開始] または [スクロール] ボタンを実際に押すことなくアクション (たとえば、スキャン開始やスマートタッチオプションによるスクロール) を開始できます。

***Kodak ScanMate* i1150WN** スキャナー - 毎分 30 ページ（白黒、カラー、グレースケール 200/ 300dpi）両面スキャン可能な無線 / 有線ネットワークスキャナーで、「バースト」機能により最初の 10 件の文書を毎分 40 ページで処理できます。i1150WN スキャナーは、一度に 75 枚の原稿をセットでき、デュアル LED 間接光によって優れた画質のイメージが得られます。





***Kodak* i1190WNスキャナー** - 毎分40ページ（白黒、カラー、グレースケール 200/ 300dpi）両面スキャン可能な無線/有線ネットワークスキャナーです。i1190WN スキャナーは、一度に 75 枚の原稿をセットでき、デュアル LED 間接光によって優れた画質のイメージが得られます。

注： このユーザーズガイドには、*Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーおよび *Kodak* i1190WN スキャナーの機能および操作手順について記載されています。特に指定がない限り、本マニュアルに記載されている情報は両方のスキャナーに該当します。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、次の資料が用意されています。

- **インストールガイド** - スキャナーとホストソフトウェアのインストールを手順ごとに説明します。
- **スキャンセットアップガイド** - *Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーおよび *Kodak* i1190WN スキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。スキャン セットアップ ガイドでは、基本的なイメージ処理機能の方法を説明します。インストール DVD に PDF ファイルで収録されています。
- **スマートタッチユーザーズガイド** - スマートタッチ機能の使用法方に関する情報と手順を説明します。ガイドはスマートタッチアプリケーション内のヘルプメニューでアクセスできます。

  注： オペレータコントロールパネルのボタンは現在 USB 接続でのみ機能します。

- **リファレンス ガイド** - スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

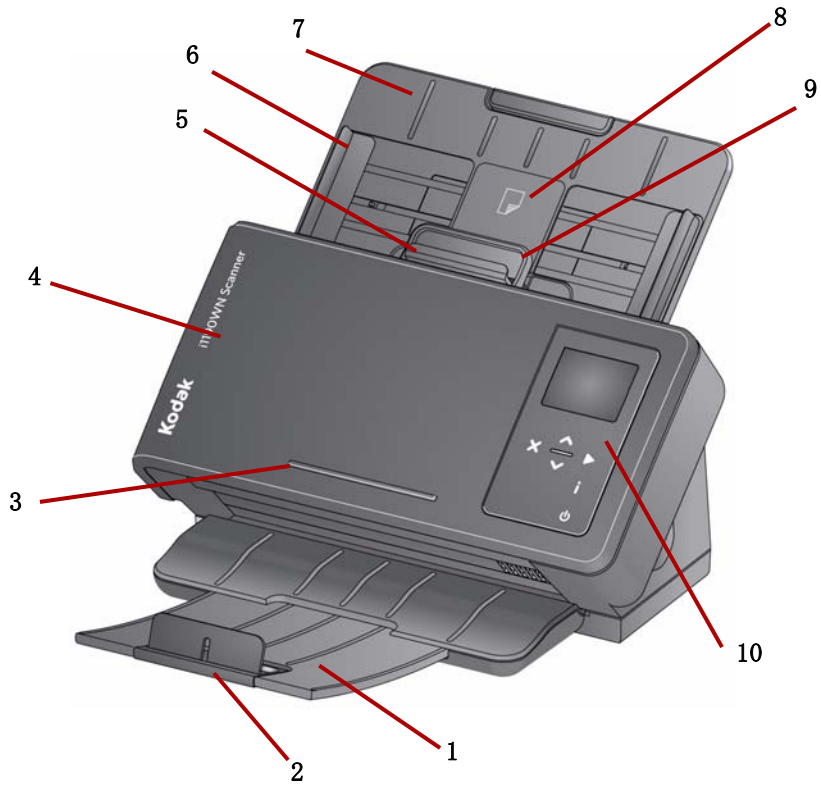
同梱品一覧

梱包品内容の確認

- *Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーまたは *Kodak* i1190WN スキャナー
- USB 2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC プラグアダプタ
- インストール DVD
- リファレンスガイド（英語版）
- インストールガイド
- その他のパンフレット（「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません）

スキャナーのコンポーネント

前部



1 **出力トレイ** - スキャン済みの原稿を収納します。出力トレイを引き伸ばすと、最長 35.56 cm までの書類を収納できます。

2 **エンドストップ** - 持ち上げると原稿のスキャン時に簡単に原稿を収めることができます。

3 **レッジ** - 小さなリファレンス原稿の収容向けです。

4 **スキャナーカバー** - このカバーを開いて、内部のイメージングガイドやセパレーションローラなどのメンテナンスを行います。

5 **ギャップリリース** - 特別な処理を必要とする原稿（破損の激しい原稿など）用に、フィードローラとセパレーションローラ間のスペースを手動で調整できます。ギャップリリースの使用時に、ギャップリリースを引き出して特殊な原稿を給紙します。終了したら、ギャップリリースを元の位置に押し戻します。

6 **サイドガイド** - サイドガイドはスキャンする原稿の幅に合わせて調節できます。

7 **入力トレイ** - スキャナーの入力トレイは最大 75 枚 (20 lb./80 g/m^2) の原稿を収容し、伸ばすと最長 35.56 cm までの原稿を収納できます。

8 **ID-1 カードポジショニング** - 小型のカード（米国運転免許証や他のクレジットカード大の ID カードなど）1 枚の縦向きスキャン向けです。大型カード（ドイツで 2010 年 11 月以前に発行された ID カードなど）1 枚の横向きスキャン用 ID-2 カード配置ポジションもあります *（このポジションは「前面」図には表示されていません）*。

注： エンボス文字付きの ID カードはエンボス面を上向きにして置いてください。

9 **スキャナーカバーリリースレバー** - スキャナーカバーを開きます。清掃や紙詰まりの除去などに使用します。

10 **オペレータコントロールパネルとボタン** - オペレータコントロールパネルにはメッセージ、ネットワーク接続情報、設定済みスマートタッチ機能 1-9 が表示されます。「i」ボタンを押すと、ネットワーク接続情報が表示されます。詳細は第 2 章の「スキャナーのネットワーク情報 / セットアップアイコン（i）の使用」のセクションを参照してください。

以下はオペレータコントロールパネルに表示されるアイコンです。


入力トレイに原稿があることを示します。


入力トレイに原稿がないことを示します。


無線接続を示します。バーの数は接続の強さを表します。4 本のバーはフルシグナルの強さを示します。


有線イーサネット接続を示します。有線イーサネット接続が有効な場合このアイコンが表示されます。


USB 接続を示します。USB 接続が有効な場合このアイコンが表示されます。


スキャナーがホストデバイスとスキャナー間で無線ディレクトリを使用するために、無線アドホック接続として機能していることを示します。

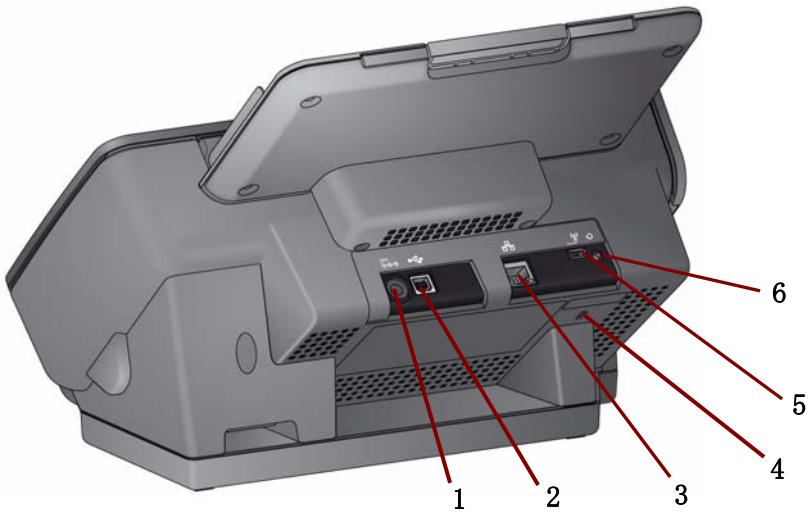
注：

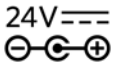
- 現在のユーザーがスキャナーを使用している（セッションが *有効* である）場合、ユーザー名は次のメッセージ、***「ユーザー名」が使用しているスキャナー***に表示され、用紙が入力トレイにある場合、***用紙を追加し、[スキャン] を押して開始***メッセージまたは ***[スキャン] を押して開始***メッセージのどちらかが続きます。表示される *ユーザー名* でスキャンされたイメージの送信先を指定します。
- 斜線付きの無線アクセスポイントアイコンは、スキャナー背面の無線スイッチがオフ位置にあることを示します。

以下は、オペレータコントロールパネルの各ボタンの説明です。

	**キャンセル**：現在のスキャンセッションを停止 / キャンセルまたは現在のアクションを実行できます。また、メッセージを消去できます。
	**スクロールアップ**:i ボタンを押して設定済みスマートタッチ機能を選択またはスクロールアップすると表示される情報をスクロールアップできます。
	**スクロールダウン**:i ボタンを押して設定済みスマートタッチ機能を選択またはスクロールダウンすると表示される情報をスクロールダウンできます
	**スタート**：スキャンを開始し、オペレータコントロールパネルに表示されている数字に関連付けられている選択したアプリケーションを起動します。
	**ネットワーク情報 / セットアップ**：このボタンを 1 回押すと現在のネットワーク情報（例えば、SSID、有線および無線の両方のコントローラ用の MAC アドレスなど）が表示されます。 このボタンを押したままにすると、ネットワーク構成が利用でき、EasySetup モードに入ります。詳細は第 2 章の「スキャナーのネットワーク情報 / セットアップアイコン (i) の使用」のセクションを参照してください。
	**電源**：スキャナーの電源をオンまたはオフにします。
	ステータスインジケータ：点灯または点滅してスキャナーの状態を示します。詳細については、第 5 章の「トラブルシューティング」を参照してください。

後面部



1 

電源ポート - 電源をスキャナーに接続します。

2 

USB ポート - USB ケーブルを使用して、スキャナーを PC に接続します。

3 

イーサネットポート - イーサネットケーブル（Kodak Alaris からは提供されません）を使用して、スキャナーをネットワークに接続します。

4 

セキュリティロックポート - セキュリティロックをスキャナーに取り付けます。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入ください。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

5 

無線スイッチ - 無線機能をオフとオンに切り替えます。スイッチが右側にあると、無線機能はオンで、スイッチが左側にあると、無線はオフです。

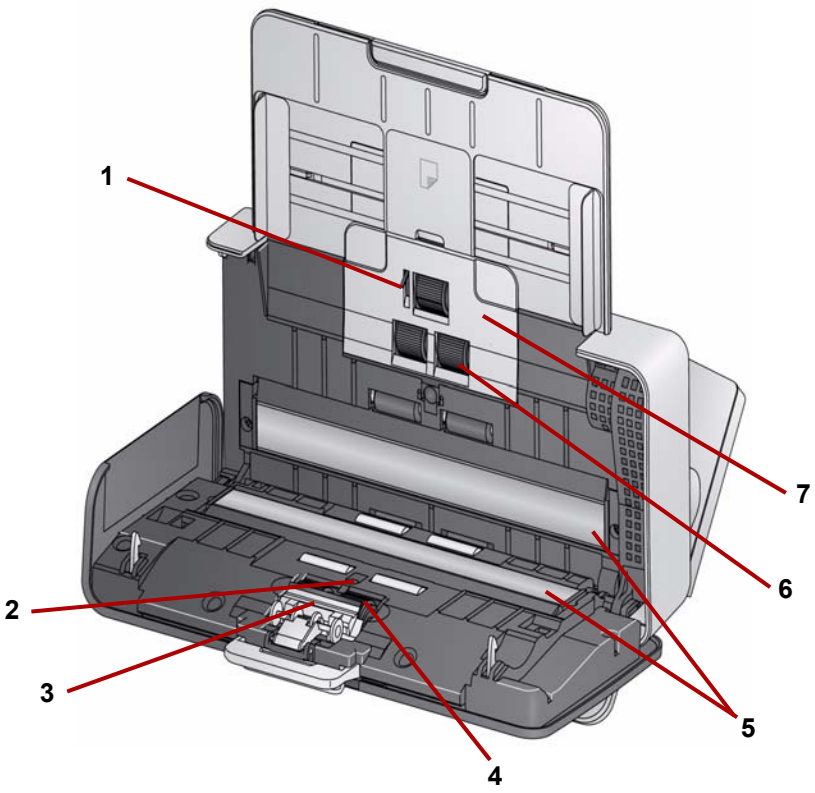
6 

リセット - スキャナーの構成を出荷時状態にリセットします。

スキャナーを出荷時状態にリセットするには、

- スキャナーの電源をオフにします。
- リセットボタンを押し続けます。
- オペレータコントロールパネルに***スキャナーのリセット完了***メッセージが表示されるまでリセットボタンを押したままにして、スキャナーの電源をオンにし続けます。

内部



1 **用紙センサ** - 入力トレイにセットされた原稿を検出します。

2 **UDDS および IDP センサ** - 重送および原稿の検出に使用されます。

3 **プリセパレーションパッド** - セパレーションローラのクリーニングまたは交換時にこのパッドを所定の位置から取り出します。

4 **セパレーションローラ** - さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

5 **イメージングガイド** - 最適な画質を得る為に、イメージングガイドを常に清潔な状態に保ってください。

6 **フィードローラ** - さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

7 **フィードローラカバー** - フィードローラのクリーニングまたは交換時にこのカバーを取り外します。

2 スキャナーのセットアップと接続

目次

スキャナーの接続 2-2
概要 2-3
i1150WN/i1190WN スキャナーのセットアップ Web サイトへのアクセス 2-6
パスワード保護 2-8
パスワードの設定または変更 2-9
ホームページ 2-10
[ネットワーク] タブ 2-12
オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク接続 2-13
無線ディレクトリ（アドホック）オプション 2-14
無線ディレクトリ（アドホック）接続 2-17
無線ネットワーク接続 2-19
オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による USB 接続 2-24
[デバイス] タブ 2-25
[サポート] タブ 2-26
[ステータス] タブ 2-27
[バージョン情報] タブ 2-27
EasySetup の詳細な検討事項 2-28
特殊な EasySetup 構成ページの使用 2-29
スキャナーのネットワーク情報 / セットアップアイコン (i) の使用 2-30
スキャナーの「起動」 2-31
スキャナーの電源を落とす 2-31

ソフトウェアのインストール前に、DVD 自動スタートを使用していない場合、ローカル PC 管理者としてログインする必要があります。

PC に CD/DVD ドライブがない場合、Kodak Alaris の Web サイト www.kodakalaris.com/go/IM からドライバにアクセスできます。Kodak Alaris の Web サイトにアクセスして最新のドライバ、ソフトウェア、ファームウェアの更新を確認することを推奨します。

この章はインストール DVD よりも詳細な情報を説明することを目的としています。そのため、追加の情報が必要な場合、この章内のセクションを参照するとネットワーキングオプションの構成に役立ちます。

さらに、Kodak Alaris の YouTube チャンネルで YouTube 動画が利用でき、接続オプションおよびセットアップに役立ちます。

- www.kodakalaris.com/go/i1150WNsupport
- www.kodakalaris.com/go/i1190WNsupport

スキャナーの接続

スキャナーに同梱のクイックスタートインストールガイドにハードウェアの接続手順が説明されています。また、インストール DVD でもこの手順が説明されます。

1. *Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーおよび *Kodak* i1190WN スキャナーのインストール DVD をディスクドライブに挿入して *Kodak* ドライバソフトウェア（*Windows オペレーティングシステム*）をインストールします。インストールプログラムが自動的に起動します。

   注：DVD が自動的に起動しない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを開き、ディスクドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。

2. 表示されるプロンプトに従います。
3. 使用する通信オプションを選択するよう要求されます。

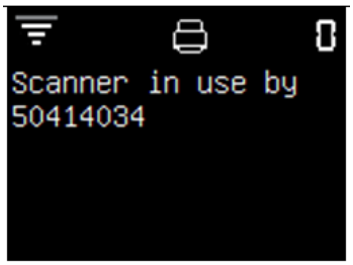
   注：無線ネットワークでスキャナーをセットアップする、または有線ネットワークを変更するには、i1150WN/i1190WN スキャナーのセットアップWebサイトへアクセスする必要があります。

   スキャナーのデフォルト設定は、無線ディレクトリ（アドホック）とほとんどの有線ネットワーク用です。

4. ソフトウェアドライバのインストールが完了したら、スキャナーの電源を入れます。

注：

- スキャナードライバと一緒に、*スキャナーのセットアップと接続* ウィザードもインストールされます。スキャナーの接続オプションを変更する場合は常にこのウィザードを実行する必要があります。例えば、スキャナーが USB 接続を使用してスキャンするよう構成されており、これを有線ネットワーク接続に変更する場合、ウィザードを実行し、プロンプトに従って接続オプションを変更します。
- スキャナーを複数のユーザーで共有する場合、各コンピュータに *Kodak* ソフトウェアドライバがインストールされている必要があります。スキャナーが複数のユーザーに共有されている場合、スキャナーのオペレータコントロールパネルには現在スキャナーを使用しているユーザーおよびスキャンしたイメージを受信するユーザーの名前が表示されます。



概要

i1150WN および i1190WN スキャナーではファームウェアの更新、スキャナーの接続モードの設定向けi1150WN/i1190WNスキャナーのセットアップ Web サイトが利用できます。また、スキャナーの組み込み Web サイトではステータス、ファームウェアのバージョン、構成情報を確認できます。

スキャナーの組み込み Web サイトでは以下の方法の 1 つでスキャナーの接続モードを構成できます。

- **オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク**：この章で後述の「オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク接続」のセクションを参照してください。
- **無線ネットワーク**：この章で後述の「無線ネットワーク接続」のセクションを参照してください。
- **オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による USB**：USB 接続を使用してスキャナーと通信する場合は、この章で後述の「オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による USB 接続」のセクションを参照してください。

初めて Web サイトへアクセスする際、スキャナー内蔵の事前構成済みの無線ディレクトリ（アドホック）接続を使用して i1150WN/i1190WN スキャナーのセットアップ Web サイトへ接続するのが最も簡単となる場合があります。これで無線スキャナーを会社の無線インフラストラクチャネットワークに加えるよう再構成できます。[サポート] タブから Web サイトへの管理者パスワードを設定することを推奨します。パスワード設定の手順については、この章で後述の「パスワードの設定または変更」のセクションを参照してください。

EasySetup オプションにより、構成情報をエンコードする暗号化された印刷可能な PDF ファイルを作成できます。

注：スキャナーの接続と構成を作成するためのスキャナーの組み込み Web ページの使用に加えて、コダックアラリスも選択したブラウザに www.kodakalaris.com/go/EasySetup と入力することで同様のページを提供しています。

この PDF ファイルは 2D バーコードイメージ原稿となります。この原稿をスキャナーの EasySetup モードでスキャンすると、スキャナーの構成情報は自動的に暗号化されます。



特許出願中の EasySetup 技術により多くのエンドユーザーは EasySetup オプションを使用してスキャナーを構成できます。必要な場合、EasySetup 構成ページはスキャナー間の構成を同一設定で迅速にコピーするのに使用したり、まれに構成情報が失われた場合にスキャナー情報を回復する手段として使用したりできます。Web サイトを使用してネットワーク設定を構成するのに 1 人しか必要とせず、またこの設定は EasySetup 構成ページを使用して他のスキャナーと簡単に共有されることが利点です。

設定後、EasySetup オプションで以下が行えます。

- スキャナーのすべての構成設定の実行
- 管理者パスワードの適用
- EasySetup オプションを無効にして他の EasySetup ページの使用を防止

すべて 1 回のスキャンで行えます！

EasySetup オプションの使用手順は、この章で後述の「オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク接続」および「無線ネットワーク接続」の両セクションで説明します。

構成オプションには基本的またはやや詳細なものがあります。

- **デフォルト構成** — スキャナーは有線ネットワークおよび無線ディレクトリ（アドホック）が有効な状態に事前構成されています。イーサネットケーブルを使用してスキャナーを会社のネットワークに接続できます。無線ディレクトリ（アドホック）を使用して、スキャナーの組み込みWebページを使用するi1150WN/i1190WNスキャナーの設定や、ホスト PC またはモバイルデバイスへの直接スキャンが可能です。

注：また、スキャナー背面の無線スイッチを使用して無線機能を無効にできます。スイッチが右側にあると、無線機能はオンで、スイッチが左側にあると、無線は オフです。これで有線ネットワークまたは USB ポートが有効となります。会社で無線デバイスを使用できない場合にのみ必要になります。

- **基本的な構成** — シンプルな環境の小規模ビジネスでは一般的な職員がネットワークに熟知していて、スキャナーの組み込み Web ページを使用してスキャナーを構成し、直接スキャナーで無線セキュリティオプションを設定できる場合があります。詳細は、この章で後述の「オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク接続」のセクションを参照してください。

  注：DHCP が利用可能な多くの場合、有線ネットワークの構成は必要ありません。

- **詳細な構成** — より複雑なネットワーク環境では環境を維持および理解する人物（管理者）が、ネットワーク構成をセットアップする人物である場合があります。多くの場合、この人物はスキャナーから離れた場所にいます。この場合、EasySetup オプションにより管理者はエンドユーザーの代わりに離れた場所にあるスキャナー向けの EasySetup 構成ページを作成できます。これは、www.kodakalaris.com/go/EasySetup から、またはスキャナーから直接 Web ページを使用して実行できます。EasySetup PDF ファイルを作成して、エンドユーザーへ E メールで送信し、エンドユーザーはそのままその原稿を印刷し、スキャナーを EasySetup モード（スキャナーでアクセスします）にしてスキャンできます。

i1150WN/i1190WN スキャナーのセットアップ Web サイトへのアクセス

そのままの設定で、Web サイトへ移動する方法が 2 つあります。

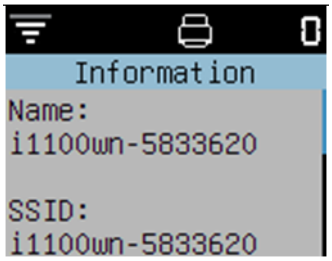
- **方法 1** — イーサネットケーブル（このケーブルは Kodak Alaris からは提供されません）でスキャナーをネットワークに接続します。このオプションを使用する場合、イーサネットケーブルをスキャナー背面のイーサネットポートに接続し、イーサネットケーブルのもう一方を有効なネットワークポートのどれかに接続します。



- **方法 2** — 無線インターフェースを備えた PC を使用してスキャナーの無線ディレクトリ（アドホック）接続経由でスキャナーの SSID と無線接続します（例、SSID = i1190wn-「8 桁のシリアル番号」または i1150wn-「8 桁のシリアル番号」）。このモードではスキャナーと接続する PC へアドレスを提供する DHCP サーバがスキャナーから提供されます。自身の IP アドレスを 10.0.0.1 に設定します。

ネットワーク上でのスキャナーの構成状態に関係なく、スキャナーの無線名、有線名、または IP アドレスが必要です。この情報を検索するには、以下の作業を行います。

1. スキャナーの電源が入っていることを確認します。
2. 情報画面が表示されるまでスキャナーのオペレータコントロールパネルの **i** ボタンを押します。下向きの矢印を使用して *SSID* および *無線 / 有線アドレス* 情報へ移動します。以下の手順 3 および 4 でこの情報が必要です。



注：オペレータコントロールパネルの「i」ボタン使用の情報および手順はこの章で後述の「スキャナーのネットワーク情報 / セットアップアイコン（i）の使用」のセクションで説明します。

3. PC で現在のネットワークをスキャナーの SSID と同じ名前に変更します（i1150WN-58333620 など）。



この時点でシステムトレイの PC ネットワーク接続アイコンにバーと感嘆符が表示されます。これは PC はインターネットに接続していないが、まだスキャナーの組み込み Web ページにアクセスできることを意味します。

4. コンピュータの Web ブラウザに http://###.###.###.### と入力します。ここで ###.###.###.### はスキャナーのオペレータコントロールパネルに表示される無線アドレス / 有線アドレスです。次の Web ページが表示されます。



注：オプションで、https://###.###.###.### を使用してスキャナーにアクセスします。

パスワード保護

Web サイトへアクセスすると、パスワードが設定されている場合、オプションのパスワード保護ダイアログボックスが表示されます。デフォルトではパスワードはありません。



この機能は承認なしで表示または変更させたくない場合にネットワーキングオプションへのアクセスを制限するために提供されます。Web サイトのパスワードはスキャナーの組み込み Web ページから直接（次のセクション「パスワードの設定または変更」を参照してください）または EasySetup オプションを使用して（この章で後述の「特殊な EasySetup 構成ページの使用」のセクションを参照してください）管理できます。

パスワードが設定されている、または正しく入力されていない場合、引き続きホームページが表示されます。しかし、[サポート]、[ステータス]、[バージョン情報] タブにしかアクセスできず、**[スキャナーのファームウェア更新]** および **[管理者パスワード変更]** ボタンは表示されません。

パスワードが設定されていない、または正しいパスワードが入力されている場合、すべてのタブ（[ネットワーク]、[デバイス]、[サポート]、[ステータス]、[バージョン情報]）と **[スキャナーのファームウェア更新]** および **[管理者パスワード変更]** ボタンが [サポート] タブで使用できます。ネットワーク設定の変更を防ぐために構成の一部としてパスワードを設定することを推奨します。

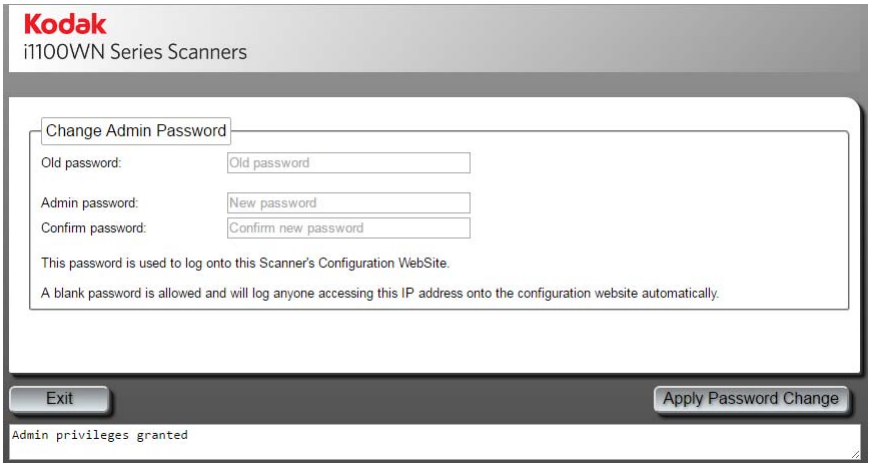
注：

- パスワードを設定した場合、ユーザーは [ネットワーク] および [デバイス]タブにアクセスするためにそのパスワードを認識している必要があります。
- ログインはセッションベースでブラウザが開いている限り有効です。
- パスワードをリセットするには、スキャナー背面のリセットボタンを押している間にスキャナーを再起動できます。
- パスワードを認識しているがスキャナーをパスワード保護したくない場合は、[サポート] タブの **[管理者パスワード変更]** ボタンをクリックして [管理者パスワード変更] ダイアログボックスにアクセスします。古いパスワードを入力して *[管理者パスワード]* および [*パスワードの確認*] フィールドを空白にし、**[パスワード変更の適用]** をクリックします。

パスワードの設定または変更

ログインしている場合は、[サポート] タブにパスワード作成オプションがあります。

1. [サポート] タブの **[管理者パスワード変更]** をクリックして [管理者パスワード変更] ダイアログボックスを表示します。



2. *[古いパスワード]* フィールドに前のパスワードを入力します。前のパスワードがない場合、このフィールドは空白になります。
3. *[管理者パスワード]* フィールドに新しいパスワードを入力します。
4. *[パスワードの確認]*フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
5. **[パスワード変更の適用]** をクリックします。パスワードを設定すると、[サポート]、[ステータス]、[バージョン情報] タブのみが表示され、**[スキャナーのファームウェア更新]** および **[管理者パスワード変更]** ボタンはパスワードを知らないユーザーには表示されません。

注 : **[終了]** をクリックすると変更を適用せずにダイアログボックスを終了します。

EasySetup 構成ページを使用するパスワードオプションにより、構成への変更を承認済みの社員に限定できる EasySetup 構成ページを作成できます。このオプションはこの章で後述の「特殊な EasySetup 構成ページの使用」のセクションで説明します。

ホームページ

ホームページには [ネットワーク] タブで始まる 5 つの一連のタブがあります。



注：

- スキャナーがパスワード保護されている場合、[サポート]、[ステータス]、[バージョン情報] タブのみが表示され、**[スキャナーのファームウェア更新]** および **[管理者パスワード変更]** ボタンは 表示されません。
- スキャナーがパスワード保護されていて、ログオンしている場合、すべてのタブと **[スキャナーのファームウェア更新]** および **[管理者パスワード変更]** ボタンを利用できます。

[ネットワーク]タブ—無線または有線接続をセットアップできます。

[デバイス] タブ — スキャナーのスリープモードのセットアップおよび EasySetup オプションの有効化を行えます。

[サポート] タブ — サービス & サポートの一般情報を表示できます。また、スキャナーのファームウェアの更新と管理者パスワードの変更を行えます。

[ステータス]タブ — スイッチ位置やケーブル装着などの現在のスキャナー構成の概要が表示されます。

[バージョン情報] タブ — 製品情報、バージョン、著作権情報が表示されます。

[スキャナーのファームウェア更新] — 選択すると、新しいスキャナーのファームウェアの場所へブラウズし、ファームウェアの更新を開始するよう要求されます。ソフトウェアおよびファームウェアの更新は www.kodakalaris.com/go/IM を参照してください。このオプションはスキャナーの Web サイトへログインするすべてのユーザーが利用できます。スキャナーのファームウェアの更新時、数分かかる場合がありますが、そのままお待ちください。更新すると、スキャナーは新しい更新を実行するため再起動する必要があります。スキャナーがパスワード保護されている場合、オプションは表示されません。

[管理者パスワード変更] — 他人がネットワーク構成を変更するのを防ぐためにパスワードを作成できます。詳細は、前のセクション「パスワードの設定または変更」を参照してください。スキャナーがパスワード保護されている場合、このオプションは表示されません。

ステータスバー — エラーメッセージおよび現在のタブで実行される機能がこの領域に表示されます。

[ネットワーク] タブ

[ネットワーク] タブで無線または有線接続をセットアップできます。

スキャナーのセットアップ時、接続モードの出荷時設定はオプションの**無線ディレクトリ（アドホック）**による**有線ネットワーク**となっています。

有線ネットワークインターフェースは DHCP セット（「自動的に IP アドレスを取得」）で構成されます。無線ディレクトリ（アドホック）はインターネット接続性を備えていない DHCP サーバ（20 MHz、チャンネル 6、セキュリティなし）として構成されます。



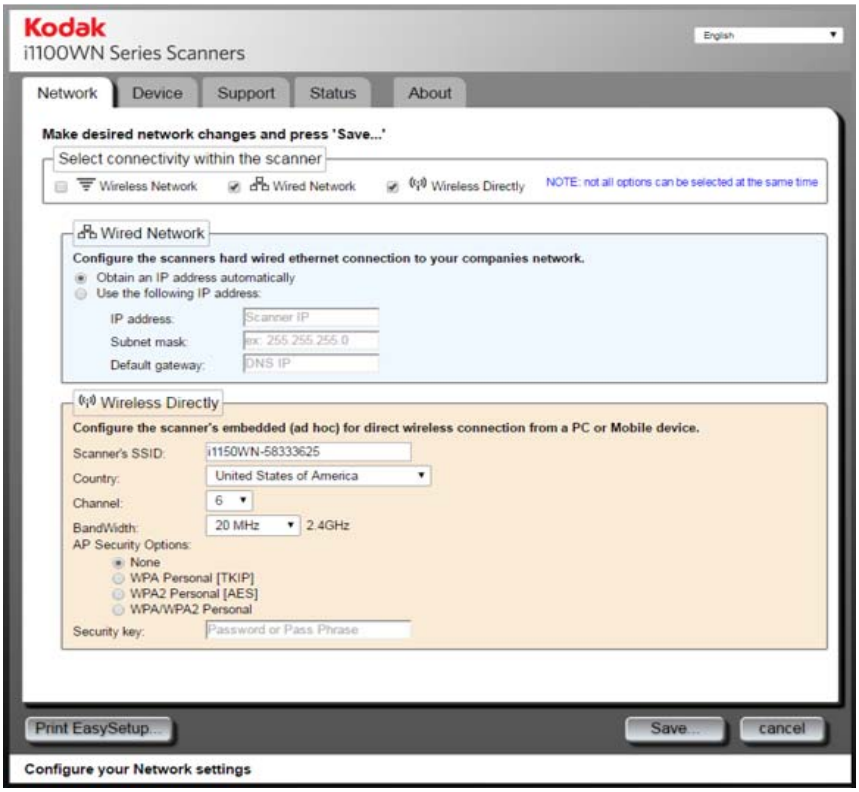
オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による有線ネットワーク接続



[ネットワーク] タブのフィールドに適切な情報を入力して有線ネットワーク接続とオプションの無線ディレクトリ（アドホック）接続を構成します。

デフォルトのネットワーク設定は以下のとおりです。

有線 = **オン**、DHCP = **有効**
無線 = **オン**、DHCP = **有効**、モード = **無線ディレクトリ**、
SSID = **スキャナーモデル - スキャナーのシリアル番号（例 : i1150WN-12345678）**



有線ネットワークの構成時、無線ディレクトリ（アドホック）の接続モードは、[ネットワーク] タブでチェックが入っている、またはスキャナー背面の無線スイッチがオフ位置でなければ、常時利用できます。上記のいずれかを行うと、スキャナーへの両方の無線構成を無効にします。

有線ネットワークオプション

- **自動的に IP アドレスを取得** — このオプションを選択すると、スキャナーは DHCP を使用して IP アドレスを取得し、ネットワークに接続します。
- **以下の IP アドレスを使用**
  - **IP アドレス**: ネットワーク管理者から提供された IP アドレスを入力します。
  - **サブネットマスク** : ネットワーク管理者から提供されたサブネットマスクを入力します。
  - **デフォルトゲートウェイ** : ネットワーク管理者から提供されたネットワーク上のゲートウェイの IP アドレスを入力します。

無線ディレクトリ（アドホック）オプション

スキャナーの SSID — デフォルトの SSID のままにすることを推奨します。変更する必要がある場合、ネットワーク管理者に連絡して適切な命名規則を確認してください。WLAN 上のすべての無線デバイスは相互通信を行うために同じ SSID を使用する必要があります。このフィールドには最大 32 文字まで入力できます。

国 — スキャナーが置かれている国を選択します。

チャンネル — 希望するチャンネルを選択します。

帯域幅 — 希望する帯域幅を選択します。

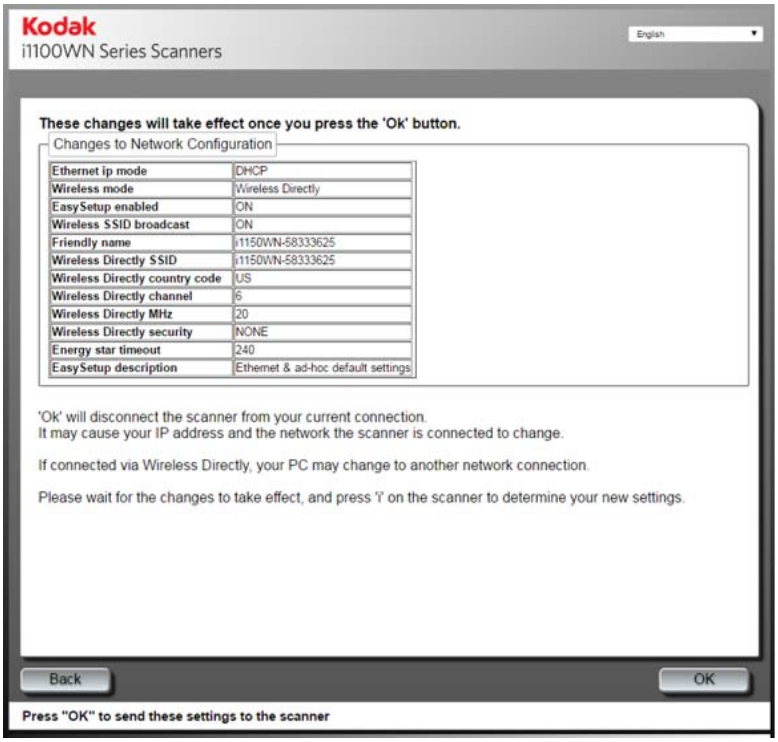
AP セキュリティオプション — 無線接続使用時に送信側と受信側間でデータを暗号化するのに以下のオプションが利用できます。

- なし
- WPA Personal [TKIP]
- WPA2 Personal [AES]
- WPA/WPA2 Personal

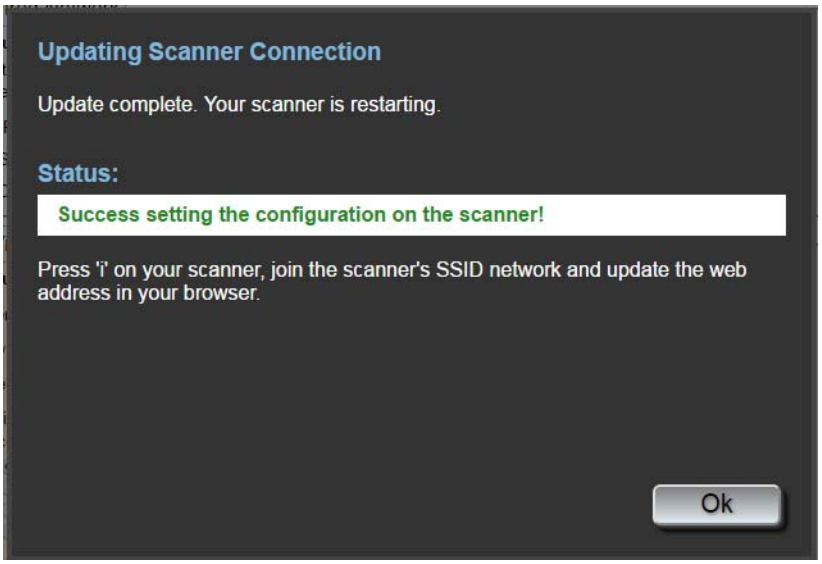
セキュリティキー — 選択したセキュリティオプションとともに使用するセキュリティキーを入力します。キーは 8 文字から 63 文字である必要があり、特殊文字を使用して語句にすることができます。

注：無線セキュリティ基準に関してさらに詳しく知りたい場合、無線セキュリティ基準をインターネット検索してください。

保存 — 選択すると、スキャナーに適用されるすべての設定が表示されます。これは、スキャナーの構成へのすべての変更と [ネットワーク] および [デバイス] タブで行ったすべての設定を示します。



設定を確認し、**[OK]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。



新しいネットワーク構成を適用する際、スキャナーは再起動し、接続していた無線ネットワークが変更される場合があります。変更された場合、そのネットワークに再接続した後で Web ページに再アクセスする必要があります。構成したいスキャナーが 1 台以上ある場合は、*オプション : EasySetup* の手順に進んですべてのスキャナーの構成を行い、ブラウザを閉じます。これでスキャナーの使用準備が完了します。

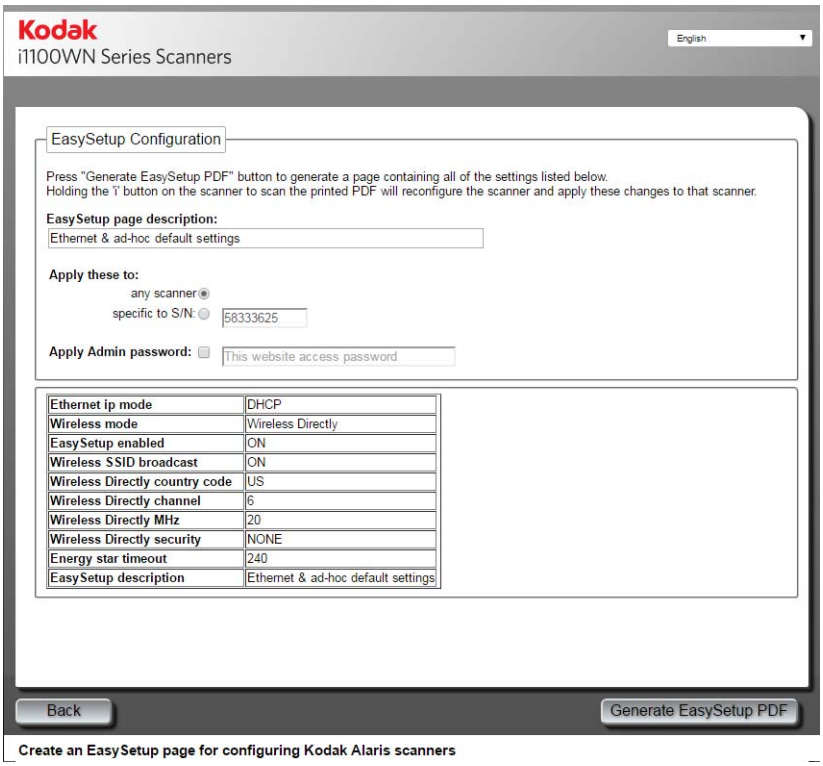
EasySetup の印刷 — 選択すると、EasySetup 暗号化バーコードページに適用されるすべての設定が表示されます。**[EasySetup PDF の作成]** を選択して PDF ファイルを作成します。お使いのブラウザに応じて、この PDF が表示されるか、PDF を保存するよう促されます。表示された場合、そのページを印刷、または EasySetup 構成ページとして保存できます。

注：各ブラウザには、**[印刷]** または **[保存]** にアクセスするための異なる方法が表示されています。ページを右クリックすると、この PDF ファイルを印刷または保存するためのオプションも表示されます。この組み込み Web サイトを使用中に、PC に自動的に保存されるものはありません。

このページには [ネットワーク] および [デバイス] タブで入力したすべての設定が含まれます。詳細については、この章で後述の「EasySetup の詳細な検討事項」の節を参照してください。

オプション：EasySetup

1. **[EasySetup の印刷]** をクリックします。EasySetup 構成ページが表示されます。



2. [EasySetup ページの説明] フィールドに説明を入力します。
3. これら設定の適用先を選択します：**[任意のスキャナー]** または特定のスキャナー。**[S/N 特定]** を選択した場合、これらの設定を保存するスキャナーのシリアル番号を入力する必要があります。
4. パスワードを適用する場合、**[管理者パスワードの適用]** ボックスにチェックを入れ、パスワードを入力します。

注：このページの設定の説明については、この章で後述の「特殊な EasySetup 構成ページの使用」のセクションを参照してください。

5. **[EasySetup PDF の作成]** を選択します。
6. ページを右クリックして **[印刷]** を選択すると、EasySetup 構成ページを印刷します。
7. EasySetup 構成ページをスキャナーの入力トレイにセットして、オペレータコントロールパネルで **[i]** ボタンを 4 秒間押し続けます。**「EasySetup が使用中」** というメッセージがオペレータコントロールパネルに表示されます。
8. スキャナーの **[スキャン]** ボタンを押します。スキャナーは EasySetup 構成ページの設定を使用して構成されます。

注：必要に応じて、この原稿をリモートのスキャナーユーザーに送信できます。各スキャナーユーザーがEasySetup構成ページをスキャンする必要があります。各スキャナーは EasySetup 構成ページの設定を使用して構成されます。

無線ディレクトリ（アドホック）接続



スキャナーを**無線ディレクトリ（アドホック）**として使用してスキャナーをセットアップする場合、デバイス（携帯電話、タブレット、PC など）がスキャナーの無線ディレクトリ（アドホック）に接続していることを確認してください。例えば、PC を無線接続で会社のインフラストラクチャネットワークに接続する場合、スキャナーの無線接続を会社のインフラストラクチャ（無線ネットワーク）に再構成するため、PC を変更して、スキャナーが提供する無線ディレクトリ（アドホック）に一時的に接続する必要があります。

デフォルトでは、[ネットワーク] タブにアクセスすると、[有線ネットワーク] および [無線ディレクトリ（アドホック）] モードオプションにチェックが入ります。**無線ディレクトリ**をクリックすると、スキャナーの組み込み無線ネットワークをオフ（またはオン）にします。例えば、**無線ネットワーク**選択などの無効な選択もすべてオフにします。



注：無効な設定はネットワーク接続の選択スペースで保護されています。希望する設定をクリックすると、他の設定は無効になります。

デフォルトの無線ネットワーク設定は以下のとおりです。

無線 = **オン**、モード = **スタンドアロンアクセスポイント**、
SSID = **スキャナーモデル - スキャナーのシリアル番号（例、i1150WN-12345678）**、セキュリティ = **なし**

無線ディレクトリで、スキャナーが作成するネットワークを構成できます。通常、セキュリティとセキュリティ事前共有キーがスキャナーのネットワークに適用されます。

注：このモードでは*フレンドリ名*は SSID に設定されます。TWAIN ドライバとモバイルアプリではフレンドリ名を使用してスキャナー名を表示します。

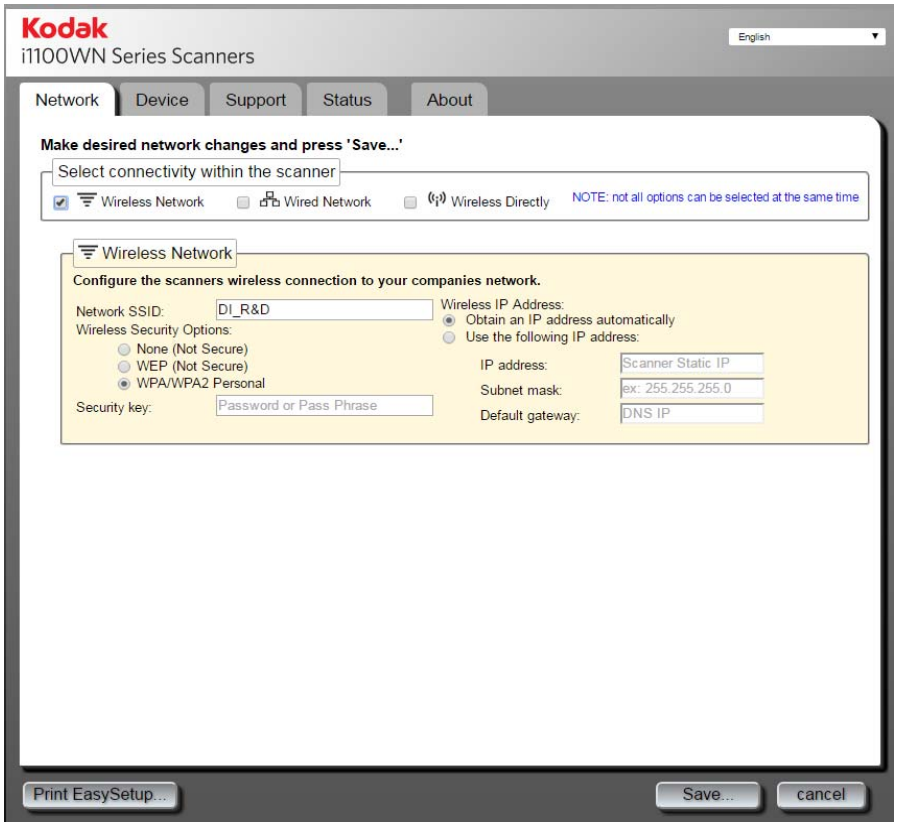


無線ディレクトリ（アドホック）オプション：これらのオプションの説明は、前のセクション「無線ディレクトリ（アドホック）オプション」を参照してください。





注：**無線ネットワーク**をクリックして、競合する有線ネットワークと無線ディレクトリ選択をオフにします。無線ネットワーク設定を構成します。通常、会社が共有しているネットワーク SSID、セキュリティ選択、セキュリティ事前共有キーを選択します。



無線ネットワーク

- **ネットワーク SSID** — ネットワーク管理者に連絡して適切な命名規則を確認してください。WLAN 上のすべての無線デバイスは相互通信を行うために同じ SSID を使用する必要があります。このフィールドには最大 32 文字まで入力できます。デフォルトの SSID は無線ディレクトリ（アドホック）用です。無線ネットワークモード用には、SSID をルーターの SSID と一致するよう変更する必要があります。SSID は大文字と小文字を区別します。

- **無線セキュリティオプション** — 無線接続使用時に送信側と受信側間でデータを暗号化するのに以下のオプションが利用できます。

  注：ネットワーク管理者に連絡してセキュリティキーを確認してください。

  - **なし（非セキュア）**
  - **WEP（非セキュア）**
  - **WPA/WPA2 Personal**

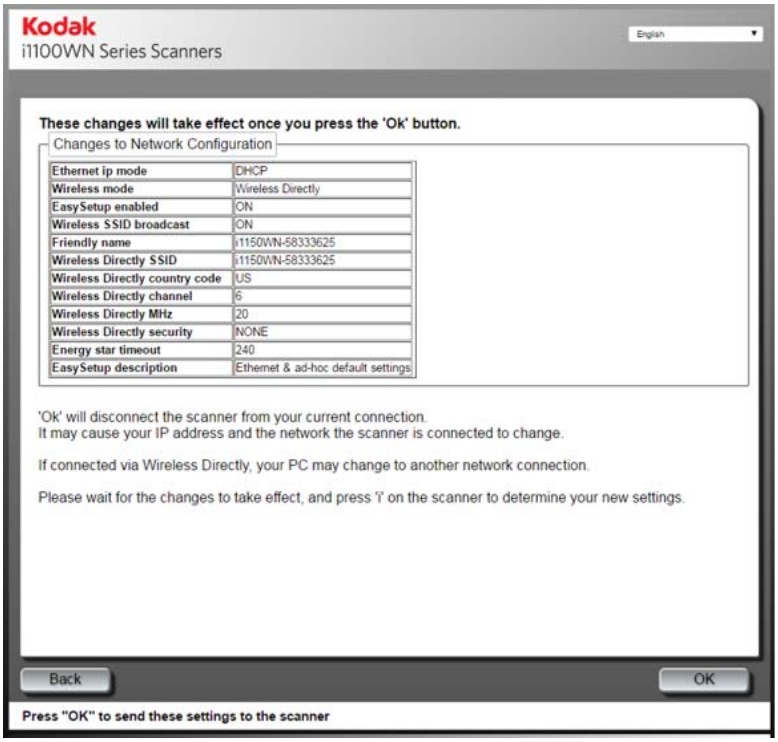
- **無線 IP アドレス**

  - **自動的に IP アドレスを取得 —** 選択すると、スキャナーは DHCP を使用して IP アドレスを取得し、ネットワークに接続します。
  - **以下の IP アドレスを使用**：
    - **IP アドレス**：ネットワーク管理者から提供された IP アドレスを入力します。
    - **サブネットマスク**：ネットワーク管理者から提供されたサブネットマスクを入力します。
    - **デフォルトゲートウェイ**：ネットワーク管理者から提供されたネットワーク上のゲートウェイの IP アドレスを入力します。

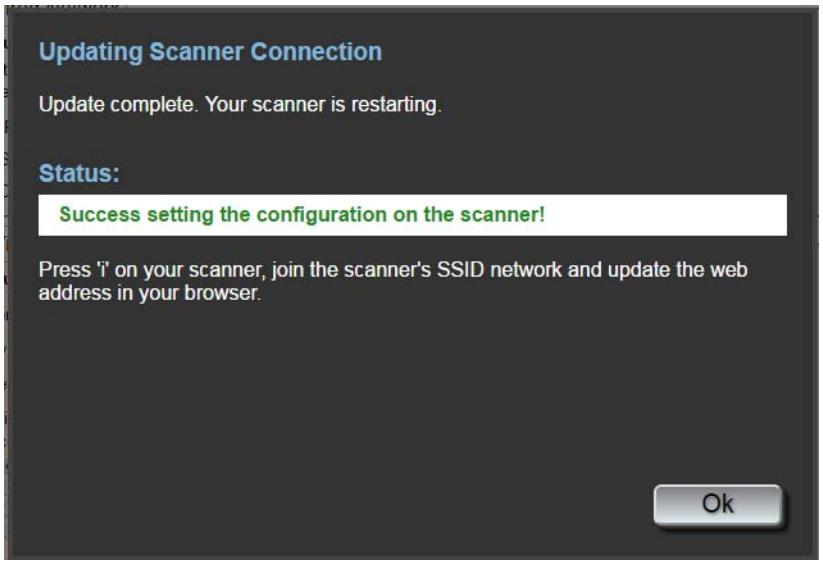
注：無線セキュリティ基準に関してさらに詳しく知りたい場合、無線セキュリティ基準をインターネット検索してください。

セキュリティキー— 接続したい無線ネットワークのセキュリティキーを入力します。

OK — 選択すると、スキャナーに適用されるすべての設定が表示されます。



設定を確認し、**[OK]** をクリックします。*完了*ステータスが表示されてアクティビティが完了すると、確認メッセージが表示され **[OK]** ボタンが表示されます。

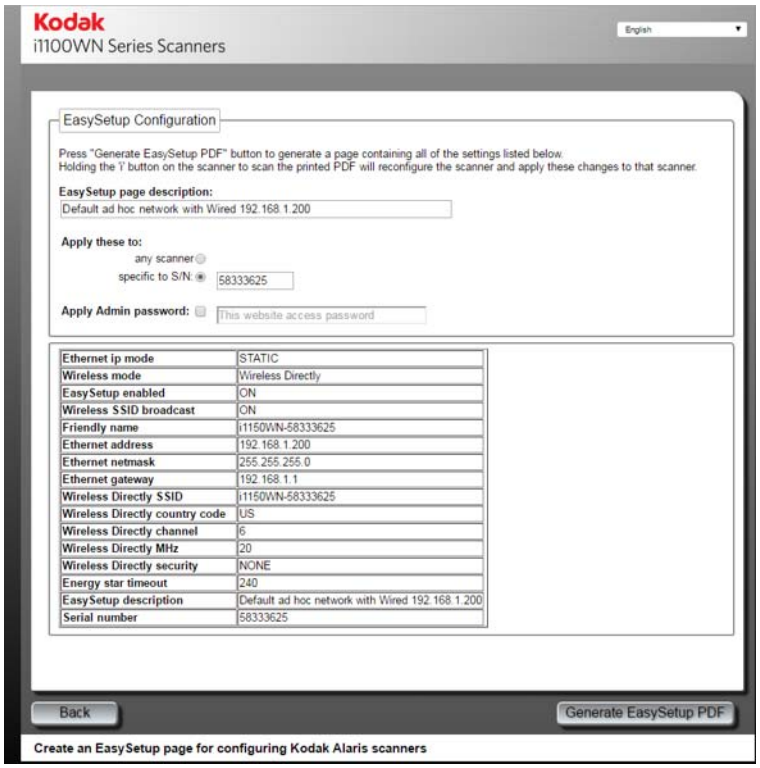


新しいネットワーク構成を適用する際、スキャナーは再起動し、接続していた無線ネットワークが変更される場合があります。変更された場合、そのネットワークに再接続した後で Web ページに再アクセスする必要があります。構成したいスキャナーが 1 台以上ある場合は、*オプション : EasySetup* の手順に進んですべてのスキャナーの構成を行い、ブラウザを閉じます。これでスキャナーの使用準備が完了します。

EasySetup の印刷 — 選択すると、EasySetup 暗号化バーコードページに適用されるすべての設定が表示されます。**[EasySetup PDF の作成]** を選択して PDF ファイルを作成します。お使いのブラウザに応じて、この PDF が表示されるか、PDF を保存するよう促されます。表示された場合、そのページを印刷、または EasySetup 構成ページとして保存できます。このページには [ネットワーク] および [デバイス] タブで入力したすべての設定が含まれます。詳細については、この章で後述の「EasySetup の詳細な検討事項」の節を参照してください。

オプション：EasySetup

1. **[EasySetup の印刷]** をクリックします。EasySetup 構成ページが表示されます。



2. *[EasySetup ページの説明]* フィールドに説明を入力します。
3. これら設定の適用先を選択します：**[任意のスキャナー]** または特定のスキャナー。**[S/N 特定]** を選択した場合、これらの設定を保存するスキャナーのシリアル番号を入力する必要があります。
4. パスワードを適用する場合、**[管理者パスワードの適用]** ボックスにチェックを入れ、パスワードを入力します。

注：

- **[任意のスキャナー]** または **[S/N 特定]** の選択によって、EasySetup ページを生成する前に対処する必要のある警告やエラーが表示される場合があります。
- このページの設定の説明については、この章で後述の「特殊な EasySetup 構成ページの使用」のセクションを参照してください。

5. **[EasySetup PDF の作成]** を選択します。
6. EasySetup 構成ページを印刷します。
7. EasySetup 構成ページをスキャナーの入力トレイにセットして、オペレータコントロールパネルで **[i]** ボタンを 4 秒間押し続けます。メッセージ**「EasySetup が使用中」**がオペレータコントロールパネルに表示されます。

8. スキャナーのオペレータコントロールパネルの**[スキャン]**ボタンを押します。スキャナーは EasySetup 構成ページの設定を使用して構成されます。

注：必要に応じて、この原稿をリモートのスキャナーユーザーに送信できます。各スキャナーユーザーがEasySetup構成ページをスキャンする必要があります。各スキャナーは EasySetup 構成ページの設定を使用して構成されます。

オプションの無線ディレクトリ（アドホック）による USB 接続



Web サイトで USB を選択する必要はありません。オプションの無線ディレクトリ（アドホック）を使用せずにスキャナーを USB デバイスとして構成する場合、[ネットワーク] タブで **[無線ディレクトリ]** のチェックを外します。



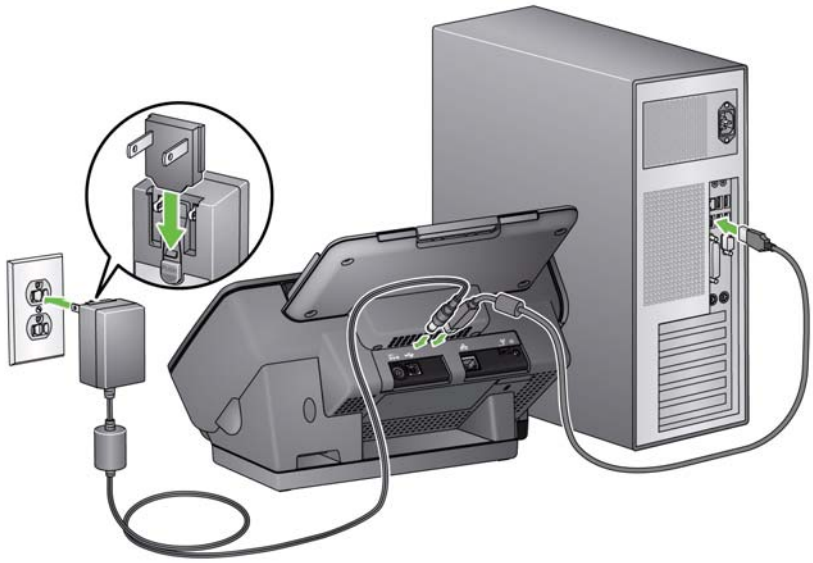
注：**[有線ネットワーク]** を選択しないと、**[無線ディレクトリ（アドホック）]** のチェックを外した場合に出荷時状態に戻さなければ Web サイトへアクセスできなくなります。

USB 接続オプションを構成すると、無線ディレクトリ（アドホック）の接続モードは、[ネットワーク] タブでチェックが入っている、またはスキャナー背面の無線スイッチがオフ位置でなければ、常時利用できます。

ハードウェア USB 接続

電源アダプタをまだ接続していない場合、接続してから USB 接続を続行してください（下図を参照してください）。

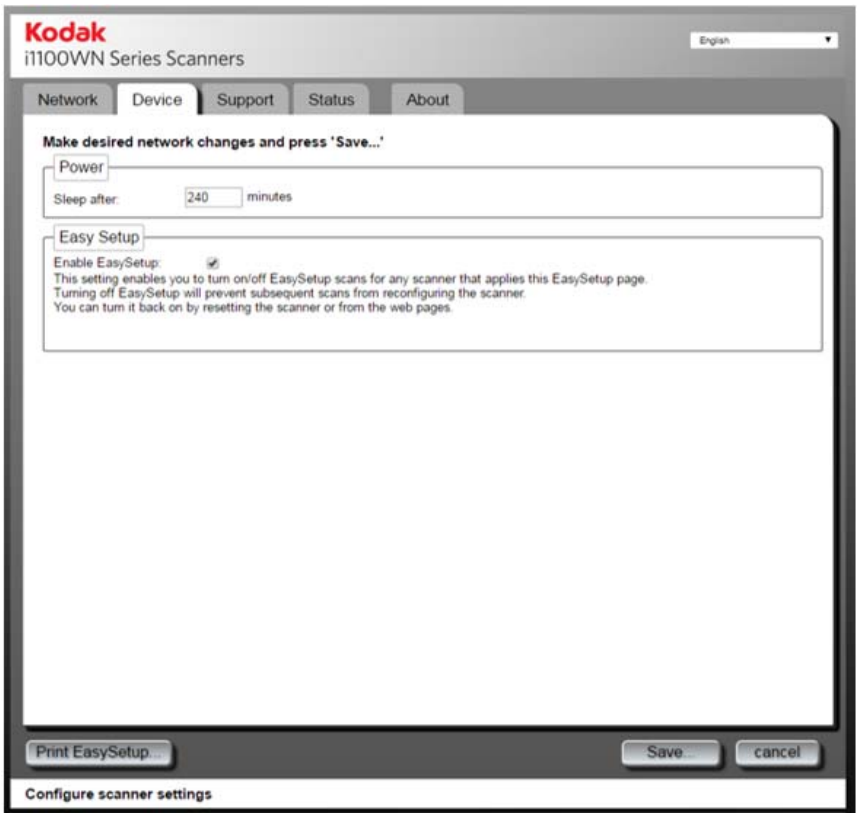
- USB ケーブルの一端をスキャナー背面に接続し、USB ケーブルのもう一端を PC の適切な USB ポートに接続します。自動的にスキャナーの電源が入り、使用準備が完了します。



注：スキャナー背面にイーサネットケーブルと USB ケーブルを同時に接続しないでください。この構成ではスキャナーは機能しません。

[デバイス] タブ

[デバイス] タブには、以下のオプションがあります。



- **電源**
  - **スリープ待機時間**: スリープモードに移行するまで、スキャナーを操作できないようにしておく時間（分）を設定できます。スキャナーがリープモードに移行するまでに割り当てられる最大時間は 240 分です。デフォルトは 15 分です。
- **EasySetup**
  - **EasySetup の有効化**: このオプションをクリックしてスキャナーの EasySetup モードを有効 / 無効にします。このオプションのチェックが外れている場合、EasySetup 構成ページをスキャンした後スキャナーの EasySetup モードに入ることができなくなります。このオプションのチェックを外して構成オプションが誤って変更されるのを防ぐことを推奨します。

    Web サイトにアクセスし、**[EasySetup の有効化]** ボックスにチェックを入れてスキャナーに設定を適用することでこのオプションを有効にできます。スキャナーを出荷時状態にリセットしてこのオプションを有効にすることもできます。

[サポート] タブ

[サポート]タブにはサービス＆サポートに関する一般情報があります。このタブからスキャナーのファームウェアの更新と管理者パスワードの変更も行えます。詳細については、この章の始めにある「パスワードの設定または変更」のセクションを参照してください。



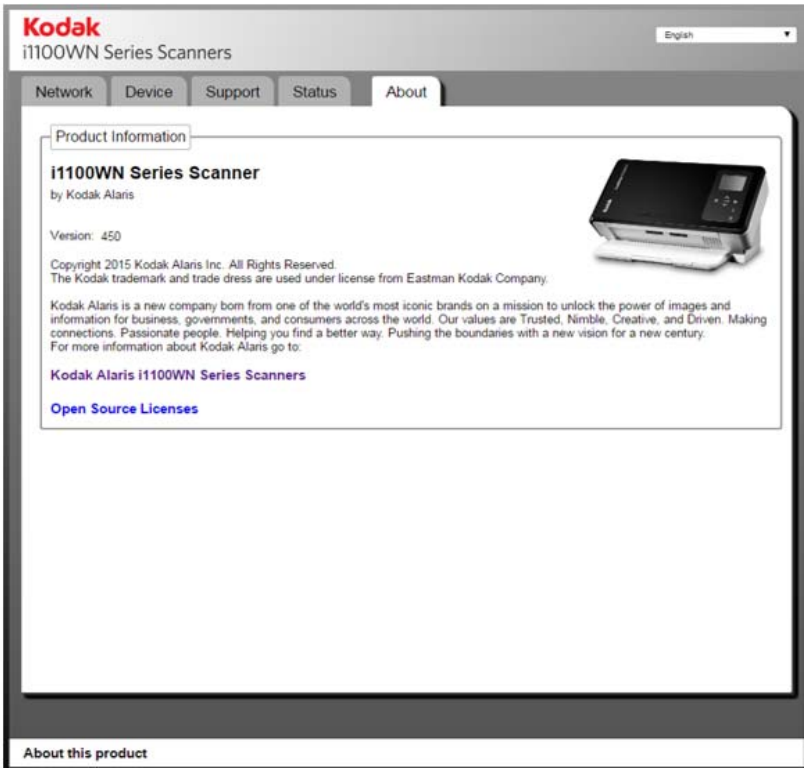
[ステータス] タブ

[ステータス]タブには現在の構成設定が表示されます。これは動的ページで、[ステータス] タブをクリックするたびにスキャナーで現在有効な設定で更新されます。すべての変更（IP アドレスやネットワーク設定など）がこのページに表示されます。



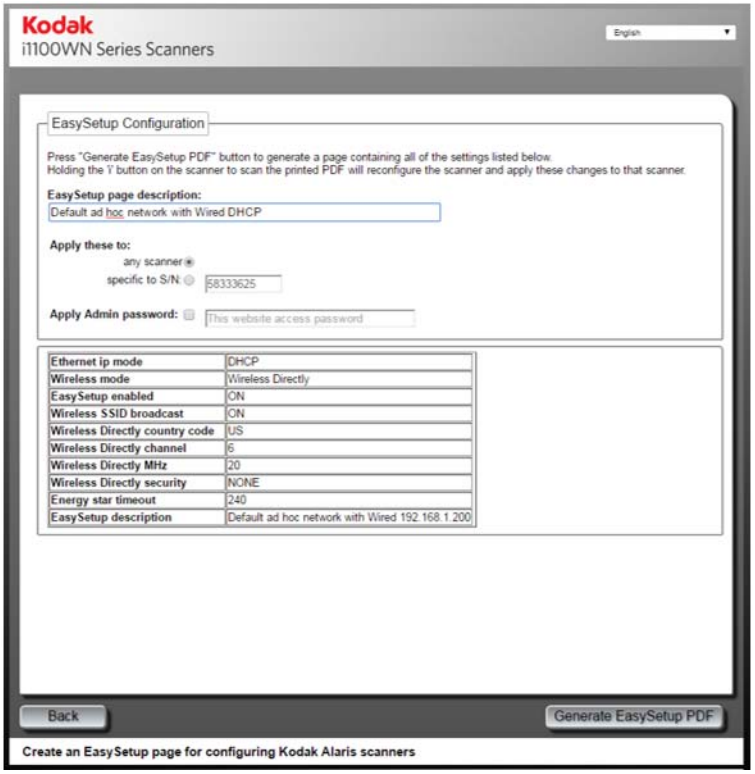
[バージョン情報] タブ

[バージョン情報] タブには著作権、バージョン、その他の一般情報が表示されます。



EasySetup の詳細な検討事項

EasySetup 構成ページの作成は [ネットワーク] タブの **[EasySetup ページの印刷]** を選択して実行できます。EasySetup 構成ページには暗号化2Dバーコードイメージへ暗号化される現在のセットアップが表示されます。情報はダイアログボックス下部の表に表示されます。フィールド名は左の列、その現在の値は右の列にあります。



EasySetup 構成ページの作成に使用する構成設定は、Web サイトにアクセスするスキャナーに適用される構成設定と同一である必要はありません。例えば、異なる場所にいるユーザーが EasySetup 構成ページの作成者とは異なる構成が必要な時､異なる設定にする場合があります。

EasySetup 構成ページ作成の担当者は、会社のネットワークでスキャナーの構成方法に関する知識がない離れた場所にいるユーザー向けの IT 担当者である場合があります。IT 担当者は i1150WN/i1190WN スキャナーのセットアップ Web サイトを使用してリモートユーザー向けに EasySetup 構成ページを作成します。設定の構成後、EasySetup 構成ページを印刷または保存して、リモートユーザーに渡すまたは E メールで送信します。

重要：

- これらの設定を**自分のスキャナーにではなく**他のスキャナーにのみ適用する場合、[ネットワーク] タブの **[保存]** をクリックしないでください。
- これらの設定を自分のスキャナーと他のスキャナーに適用する場合、[ネットワーク] タブの **[保存]** をクリックしてください。

特殊な EasySetup 構成ページの使用

EasySetup 構成ページで以下のオプションが利用できます。



EasySetup ページの説明 — このフィールドの説明は EasySetup ページの上部に表示されます。この説明は実行させたい行動をユーザーに伝えるメッセージである必要があります。例えば、EasySetup 構成ページを作成して出荷時状態に戻す場合、このフィールドの説明は *「出荷時状態に戻す」* のようにする必要があります。

[構成の適用：任意のスキャナー] — チェックが入っていると、スキャナーのシリアル番号を最初にチェックせずに EasySetup 構成がスキャナーに適用されます。これは 1 つのマスター構成を使用して複数のスキャナーに構成をコピーする場合に役立ちます。スキャナーを無線ネットワーク上で動作するよう構成する場合、何回も実行できます。

注：**[構成の適用：任意のスキャナー]** オプションを使用して静的アドレスまたはアクセスポイント SSID に適用することはできませんが、S/N 特定に適用される場合は可能です。これにより、スキャナー固有の静的情報用に各スキャナーを設定できます。

[構成の適用：S/N 特定] — このフィールドのこれらの EasySetup 構成設定を適用する特定のスキャナーのシリアル番号を入力します。これはアクセスポイント SSID または静的 IP などのパラメータを指定する際に重要です。これらパラメータが重複する場合、スキャナーは予期した通りに機能せず、複数のスキャナーにコピーされません。このフィールドに入力するシリアル番号は、EasySetup 構成ページを使用するスキャナーの [*無線アクセスポイント SSID*] フィールドに表示されるシリアル番号と一致する必要があります。

注：**[構成の適用：任意のスキャナー]** オプションを使用して静的アドレスまたはアクセスポイント SSID に適用することはできません。

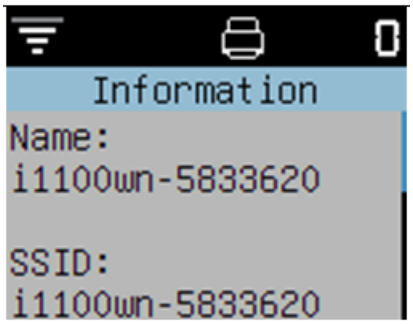
[管理者パスワードの適用] — 選択すると、このフィールドに入力するパスワードが管理者パスワードとしてスキャナーに適用されます。これは [サポート] タブの **[管理者パスワードの変更]** オプションを使用してパスワードを作成した場合と同様に機能します。スキャナーのオペレータコントロールパネルで EasySetup ページを EasySetup モードでスキャンする際にこのパスワードが適用されます。パスワードを割り当てると構成をエンドユーザーから保護するため、エンドユーザーは変更できなくなります。

スキャナーのネットワーク情報/セットアップアイコン (i) の使用

ネットワーク情報/セットアップ(i)アイコンには2つの機能があります。

- 1 回押すと、ネットワーク設定が表示されます。これは以下を含みますが、それに限定されません。
  - スキャナー名
  - SSID
  - 無線アドレス：*111.222.3.4. またはなし*
  - ファームウェアバージョン
  - 無線サブネットマスク
  - 無線 MAC アドレス：*01.02:03:04:05:06*
  - 有線 MAC アドレス：*01.02:03:04:05:06*

  注：スキャナーのオペレータコントロールパネルの上および下向きの矢印で情報ページ内を移動できます。



- **EasySetup モード**：約 4 秒間 i ボタンを押し続けると、スキャナーは EasySetup モードに入ります。EasySetup モード時に、以下を行います。

1. EasySetup 構成ページを下向きに入力トレイに挿入します。
2. 書類をスキャンします。

   スキャナーはバーコードを読み取り、あらかじめ定めた構成設定に従いスキャナーをセットアップします。

スキャナーの「起動」

スキャナーの電源がまだ入っていない場合、スキャナーの任意のボタン（上、下、スタート、電源）を押します。



スキャナーの電源を落とす

スキャナーの電源を落とすには、電源ボタンを 3 秒間押します。

注：*スリープ/電源オフ*エナジーセーバー機能により、スキャナードライバで指定した時間後にスキャナーの電源が落ちます。デフォルトは 15 分ですが、スキャンアプリケーションでこの時間を構成できます。有効値は 1 分から 240 分です。

3 スキャン

目次

複数ユーザー 3-1
スキャナーの準備 3-1
原稿の準備 3-2
スキャンアプリケーション 3-3
スマートタッチによるスキャン 3-4

複数ユーザー

スキャナーが複数のユーザーに共有されている場合、スキャナーはいずれかのユーザーが*使用中*の場合があります。この場合、スキャナーは現在使用中というメッセージがコンピュータに表示され、スキャナーのオペレータコントロールパネルにはメッセージ「*XXXXX が使用中*」（ここで XXXX はユーザー名または他の識別子）が表示されます。スキャナーが利用可能になるまで待ち、再試行します。

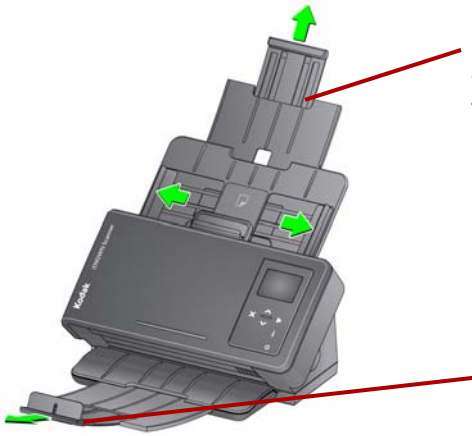
スキャナーの準備

1. スキャナーの電源が入っており、スキャンの準備が整っている（電源ボタンが点灯している）ことを確認します。
2. サイドガイドを調整（外側か内側にスライドさせる）してスキャンする原稿のサイズに合わせます。



3. 必要に応じ、原稿に合わせて、入力トレイと出力トレイを調整することができます。出力トレイを伸ばすと、最長 35.56 cm までの書類を収納できます。スキャン原稿の収納にエンドストップが用意されています。このエンドストップを最大 A4（11.7 インチ）までのスキャン原稿の必要に応じて持ち上げます。

注： スキャン原稿が A4（11.7 インチ）以上の場合エンドストップを下げておきます。



注： 小さな原稿（クレジットカード、米国運転免許証など）をスキャンする場合、原稿は縦向きでスキャナーへ給紙する必要があります。

書類の準備

1. ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
2. スキャン前に、用紙上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
3. 標準用紙サイズの原稿は、簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力トレイの中央に重ねます（下向き）。これにより、原稿は 1 枚ずつスキャナーに給紙されます。
4. スキャンする原稿を入力トレイにセットします。原稿の表面を入力トレイ側に伏せて、原稿の上部が入力トレイに挿入されていることを確認してください。

5. 運転免許証、クレジットカードなど小さな原稿をスキャンする場合、1 つずつスキャンする必要があります（縦向き）。バッチの場合、最初に小さな原稿をバッチに置く必要があります。



スキャンアプリケーション

Kodak Alaris は *Kodak ScanMat*e i1150WN スキャナーおよび *Kodak* i1190WN スキャナーに以下のアプリケーションを提供します。

- **ScanMate+ モバイルアプリ** — モバイルデバイスを使用してスキャナーから簡単に原稿をスキャンします。ScanMate+ モバイルアプリ（iOS および Android）は Kodak Alaris の Web サイトまたは App Store / Play Store で入手できます。
- ***Kodak* Capture Pro Limited Edition** — この使いやすいアプリケーションで「そのままの設定で」情報の素早いスキャンと処理を行えます。ひとつのドキュメントから大きいバッチまで幅広い用途においてキャプチャ、修正、出力が可能です。Capture Pro Limited Edition はエントリーレベルの原稿またはシングルバッチスキャンを管理する個人またはワークグループユーザー向けに最適です。
- **スマートタッチ** — スマートタッチアプリケーションは、*Kodak* ドライバソフトウェアと同時にインストールされている場合があります。Kodak Alaris のスマートタッチで、以下のような一般的なスキャンタスクを簡単に実行できます。
  - 印刷済みレポートからサーチャブル PDF を作成する
  - 請求書をスキャン、FAX、印刷する
  - 写真をスキャンしてプレゼンテーションに追加する

  ショートカットを修正して名前を変更し、独自のタスクを作成できます。送信する前に、イメージをプレビューして簡単に編集（ズーム、回転、クロップなど）できます。次の設定済みタスクのショートカットを使用できます。

  カラー PDF — カラーの原稿をスキャンしてカラー PDF ファイルとして保存します。

  白黒 PDF — 原稿をスキャンして白黒の PDF ファイルとして保存します。

  白黒 RTF — 原稿をスキャンして、ワードアプリケーションで開けるフォーマットで保存します。スキャンデータは白黒の RTF ファイルとして保存されます。

  カラーJPEG — カラー写真をスキャンしてカラーJPG ファイルとして保存します。

  白黒シングルページTIFF — 白黒スキャン後、白黒画像を個別の TIFF ファイルに保存します。

  白黒マルチページページ TIFF — 白黒スキャン後、すべての白黒画像を複数ページの TIFF ファイルに保存します。

  白黒 PDF を E メールで送信 — スキャン後に白黒の PDF ファイルを E メールで送信します。

  カスタムカラー PDF — 原稿をスキャンして、スマートタッチ編集ウィンドウを開きます。イメージ編集完了後、**[完了]** をクリックすると、カラー PDF ファイルとして表示されます。

  カスタムカラーファイル — 原稿をスキャンする前にスキャナー設定をセットアップできます。原稿はカラー JPG ファイルとして保存されます。

スマートタッチによるスキャン

スマートタッチアプリケーションをインストールした場合、次の手順はスマートタッチを使用して**白黒 PDF** を作成する一例です。スマートタッチの詳細は、スマートタッチアプリケーション内のヘルプメニューで利用可能な「スマートタッチ用ユーザーズガイド」を参照してください。

注：Smart Touch アプリケーションを使用している場合は、コンピュータの Smart Touch アイコンを使用してスキャンできます。USB 接続を使用している場合は、スキャナーの物理ボタンのみ機能します。

1. オペレータコントロールパネルに番号**2**が表示されるまで**[スクロール]** ボタンを押します。希望する機能へスクロールアップまたはスクロールダウンできます。
2. **[スタート]** ボタンを押します。

スキャン後にイメージが [マイドキュメント] 内のスマートタッチディレクトリの出力フォルダに出力されます。

注：*Kodak ScanMate* i1150WN スキャナーを使用し、10 件未満の原稿をスキャンする場合、スキャナーはこれら原稿を毎分 40 ページでスキャンします（バーストモード）。10 件以上の原稿の場合、最初の 10 ページを毎分 40 ページでスキャンし、残りの原稿を毎分 30 ページでスキャンします。

4 メンテナンス

目次

スキャナーカバーの開け方 4-1
清掃手順 4-2
　ローラの清掃 4-2
　セパレーションローラタイヤのクリーニング手順 4-3
　フィードローラのクリーニング 4-5
　イメージングガイドのクリーニング 4-8
　トランスポートクリーニングシートによる清掃 4-8
交換手順 4-9
　セパレーションローラの交換 4-9
　プリセパレーションパッドの交換手順 4-10
　フィードローラの交換 4-11
消耗品 4-13

この章ではスキャナーのクリーニングと消耗品の交換の手順および図が示されます。こうした手順の実行方法を視聴したい場合、YouTube のリンク https://www.youtube.com/watch?v=ghUbmcKiF5c にアクセスできます。

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーカバーのリリースレバーを引き、カバーを解除して開きます。



2. スキャナーのクリーニングや部品の交換が完了したら、スキャナーカバーを閉じます。

清掃手順

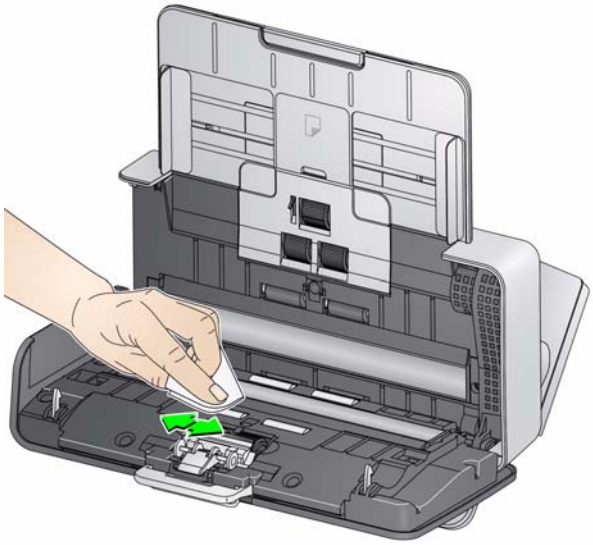
スキャナーは定期的に清掃する必要があります。原稿がうまく搬送できなくなったり、複数枚の書類が一度に搬送されたり、イメージに線が入ってしまうときは、スキャナーを清掃する必要があります。この章の終わりの「消耗品」には、スキャナーの清掃に必要な消耗品リストを示しています。

重要：

- *Kodak Alaris が推奨するクリーナのみを使用してください。家庭用クリーナは使用しないでください。*
- *清掃前に、室温になるまで表面を冷ましてください。高熱面にクリーナを使用しないでください。*
- *換気を行ってください。狭い場所でクリーナを使用しないでください。*
- *清掃の前に、電源を切ります。*
- *メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。*

ローラの清掃

1. スキャナーカバーを開きます。
2. ローラクリーニングパッドを使って、フィードローラを磨くように拭きます。フィードローラを回しながら、全面を清掃します。



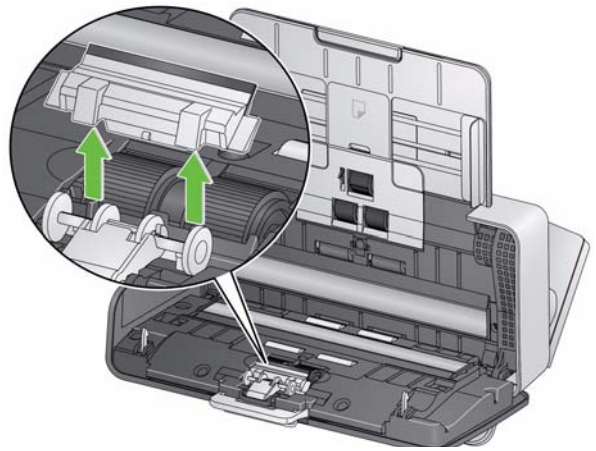
重要：ローラークリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、安全データシート（SDS）を参照してください。

3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

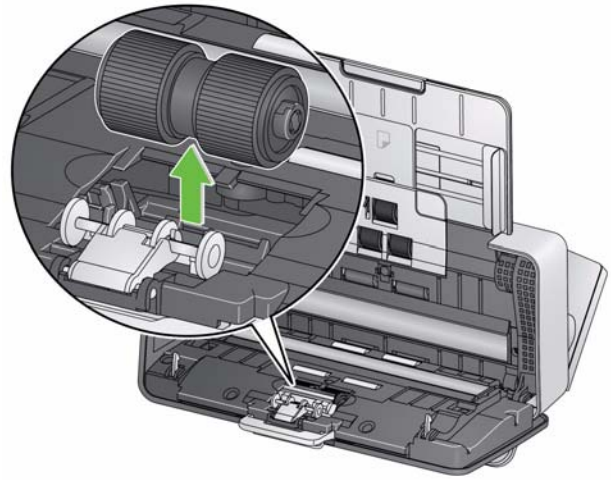
セパレーションローラのクリーニング手順

スキャナーからセパレーションローラを取り外してから清掃すると効率が良いでしょう。

1. プリセパレーションパッドを掴んで取り外し、そのまま取り出します。



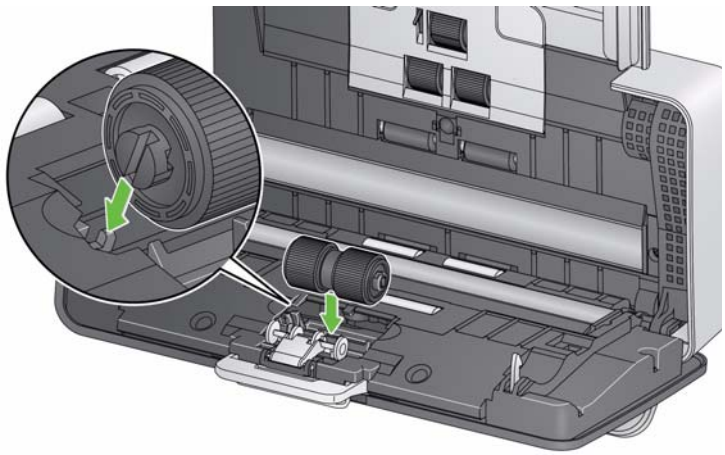
2. セパレーションローラを掴んでそのまま取り出します。



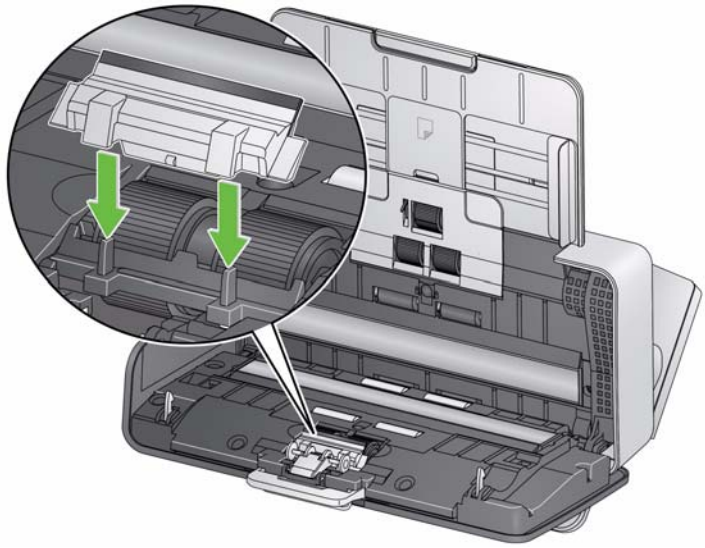
3. セパレーションローラタイヤをローラクリーニングパッドで水平に拭いてください。
4. セパレーションローラを確認します。

   セパレーションローラタイヤに磨耗または破損の兆候が見られる場合は、交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

5. セパレーションローラのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



6. プリセパレーションパッドの溝と穴の位置を合わせて、押し込みます。



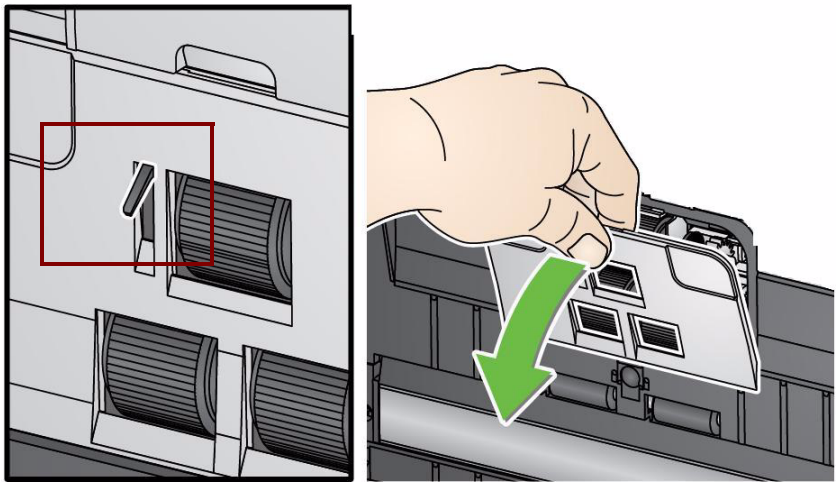
フィードローラのクリーニング

1. 入力トレイを取り外します。

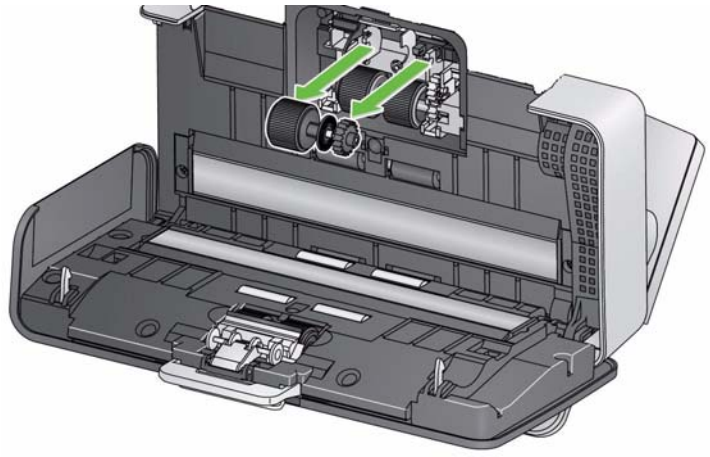


2. フィードローラカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。

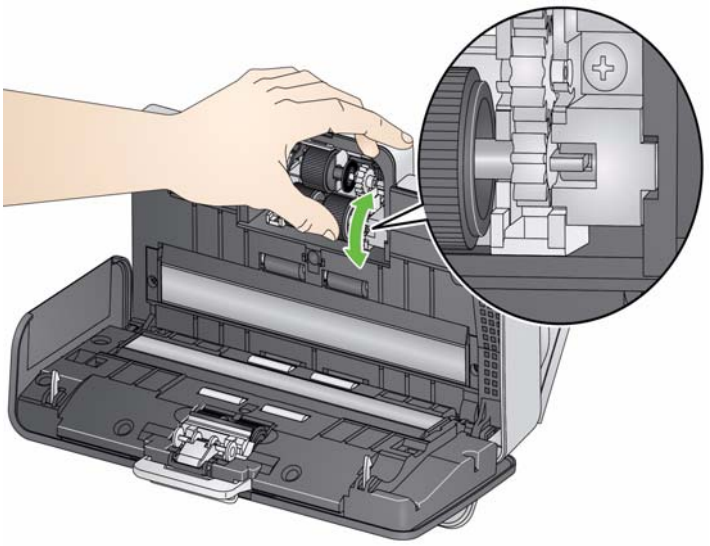
注：フィードローラを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。



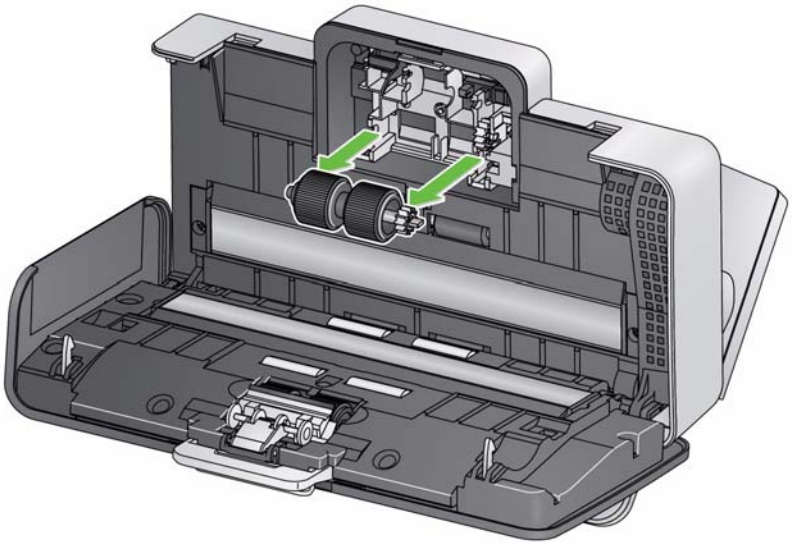
3. ローラ上部を掴んでそのまま取り出します。



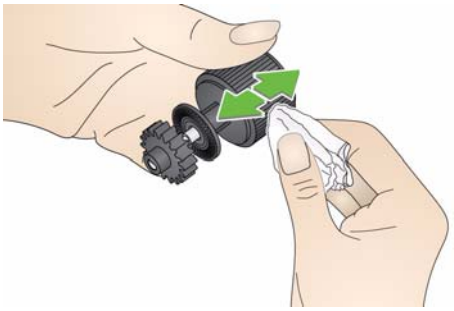
4. フィードローラ下部を回転させるとピンが溝の位置にきます。

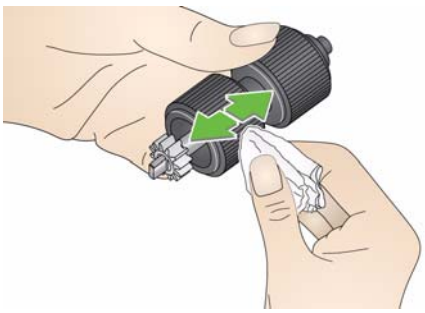


フィードローラ下部を掴んでそのまま取り出します。



5. ローラクリーニングパッドで上下のフィードローラタイヤを乾拭きします。

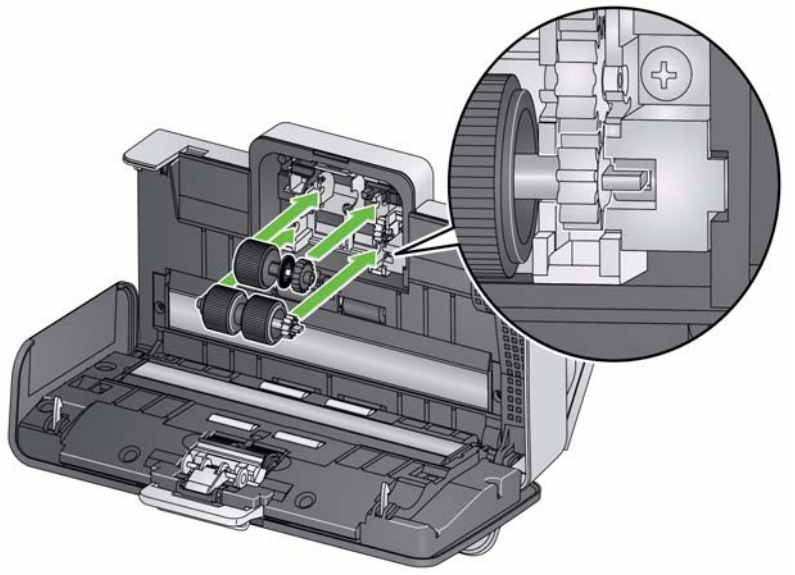




6. フィードローラを確認します。

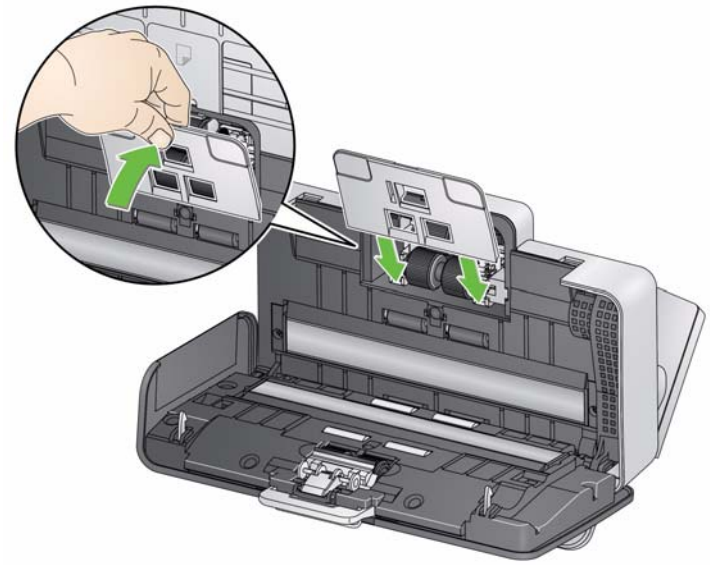
   フィードローラタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードローラを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

7. ピンと溝の位置を合わせ、所定の位置へフィードローラ下部を再び取り付けます。歯車が正しくかみ合うように取り付けてください。



8. フィードローラ上部を再び取り付けます。

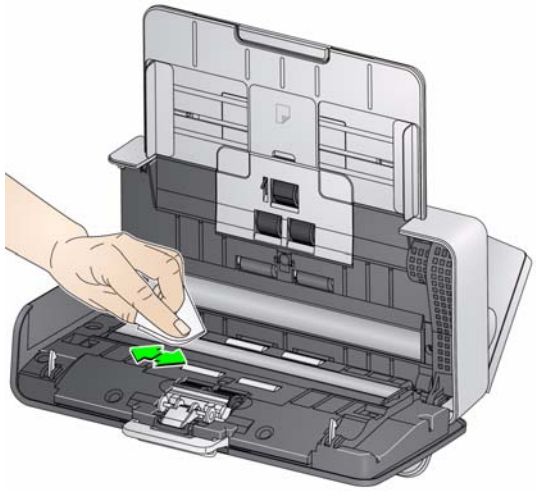
9. カバー下の先端をスキャナーに合わせてフィードローラカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。



イメージングガイドのクリーニング

1. 上下のイメージングガイドを Brillianze ディテイラー ワイプ（ステップ 1）または静電クリーニングクロスで丁寧にクリーニングします。イメージングガイドに傷を付けないように注意してください。

重要：静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、SDS を参照してください。



2. Brillianze ディテイラー ワイプ（ステップ 2）または乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
3. クリーニングが終了したら、スキャナカバーを閉じます。

トランスポートクリーニングシートによる清掃

通常のクリーニング手順に加え、トランスポートクリーニングシートを使用できます。トランスポートクリーニングシートは購入できます。詳細については、この章に後述の「消耗品」の項を参照してください。

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を取り除きます。
2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
3. 入力トレイにトランスポートクリーニングシートを（粘着面を手前に向けて）縦にセットします。
4. 搬送路クリーニングシートのスキャンを行います。
5. トランスポートクリーニングシートのスキャンが終了したら、裏返して（粘着面を入力トレイに伏せる）もう一度スキャンします。
6. スキャナーカバーを開け、チリの出ない布でイメージングガイドを乾拭きします。
7. スキャナーカバーを閉めます。
8. イメージ品質を確認します。
9. 必要に応じて、この手順を繰り返し、ローラの汚れをすべて取り除きます。

注：クリーニング シートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。

交換手順

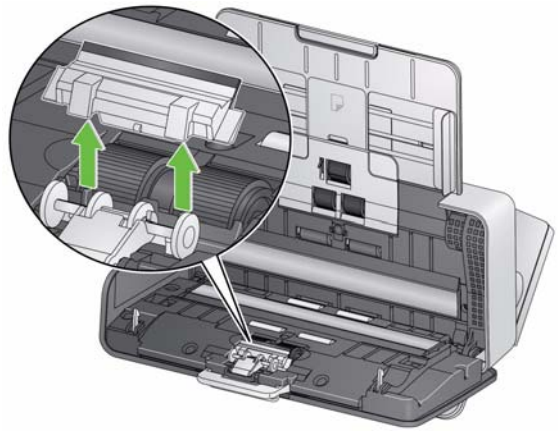
Kodak スキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる、交換可能なフィードローラモジュールを使用しています。モジュールの寿命とパフォーマンスは、原稿の種類、搬送路とタイヤの清掃の頻度、推奨するモジュール交換スケジュールに従っているかどうか、などの条件により異なります。規格上フィードローラモジュールの寿命はおよそ 200,000 ページです。耐用年数については保証されていません。お客様の運用環境、原稿の種類、スキャン対象原稿の状態、推奨する清掃 / 交換手順の遵守状況によって、消耗品の寿命は異なります。清掃手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、フィーダパフォーマンスの低下などの問題が頻発する場合は、フィードローラモジュールを交換してください。

重要 :

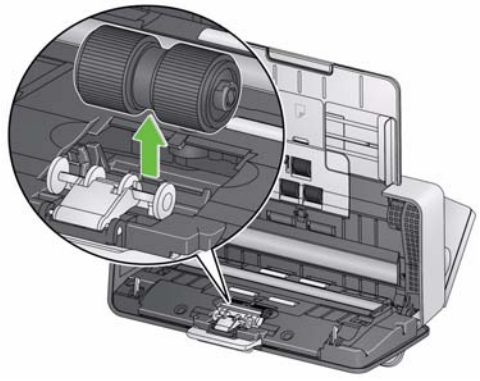
- *部品を交換する前に、電源を切ります。*
- *特定の用紙タイプ (ノンカーボン用紙や新聞紙) を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラーの寿命が短くなることがあります。*

セパレーションローラの交換

1. プリセパレーションパッドを掴んで取り外し、取り出します。



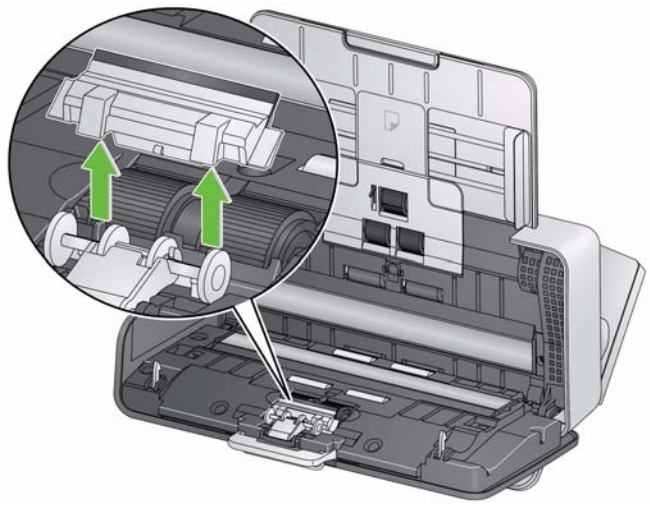
2. セパレーションローラを取り外します。



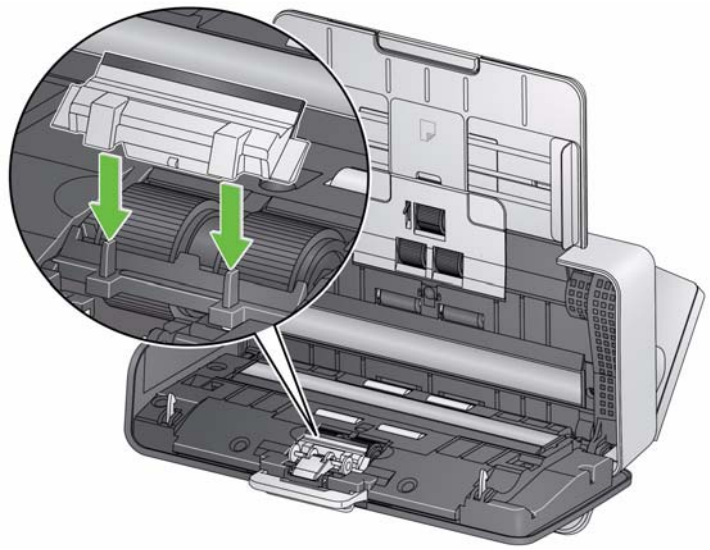
3. セパレーションローラのタブと溝の位置を合わせて押し込み、取り付けます。
4. プリセパレーションパッドの溝と穴の位置を合わせて、押し込みます。

プリセパレーションパッドの交換手順

1. プリセパレーションパッドを掴んで取り外し、取り出します。



2. 使用済みのプリセパレーションパッドを破棄します。
3. プリセパレーションパッドの溝と穴の位置を合わせて押し込み、新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。



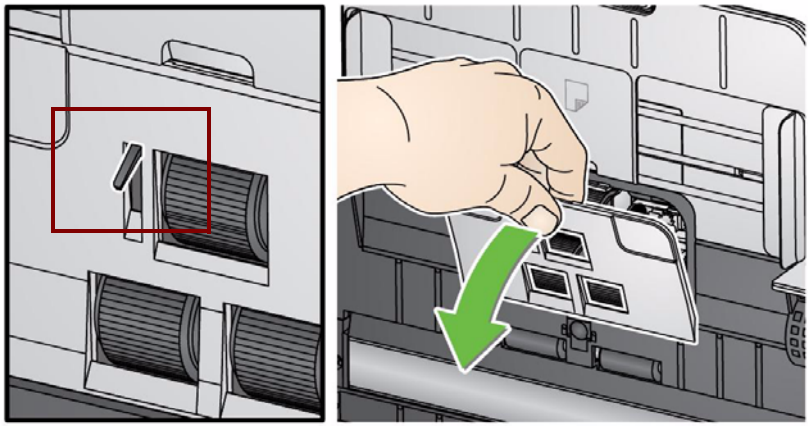
フィードローラの交換

1. 入力トレイを取り外します。

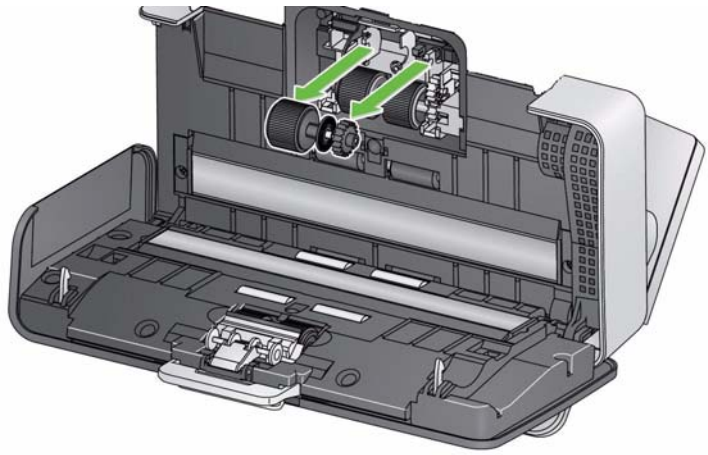


1. フィードローラカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。

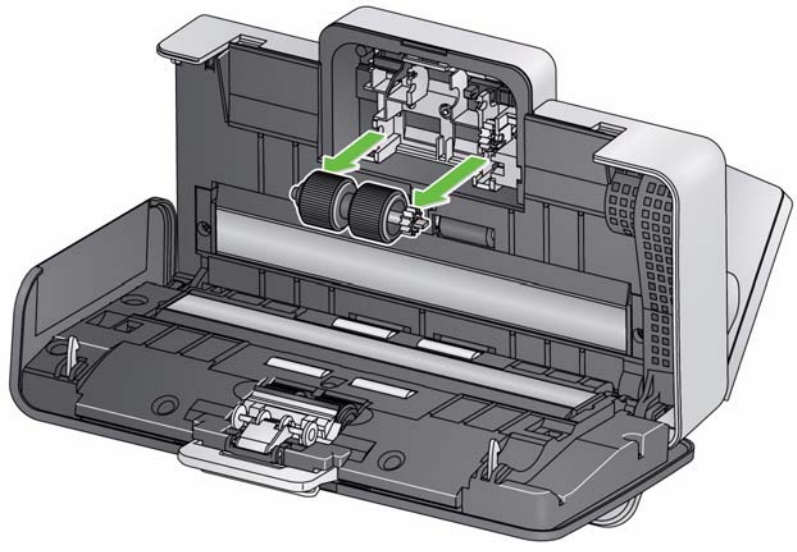
   注： フィードローラを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。



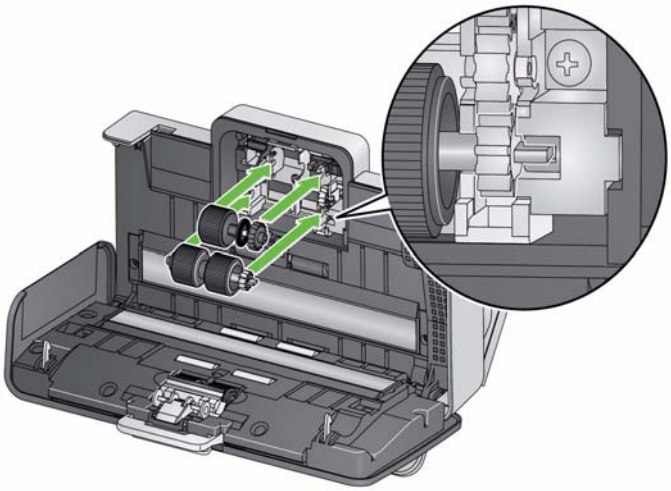
2. ローラ上部を掴んでそのまま取り出します。



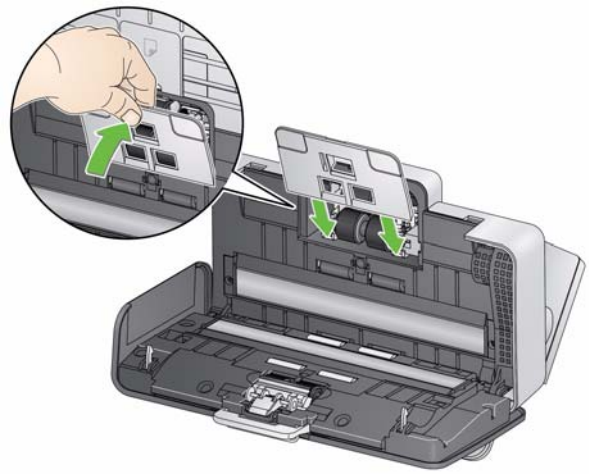
3. フィードローラ下部を回転させてピンが溝の位置にきたら、フィードローラ下部を掴んでそのまま取り出します。



4. ピンと溝の位置を合わせ、各ローラを所定の位置へ合わせて新しい上下フィードローラを取り付けます。歯車が正しくかみ合い、ローラが所定の位置に入っていることを確認してください。



5. カバー下の先端をスキャナーに合わせてフィードローラカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。



消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

説明	カタログ番号
Kodak i1100 スキャナー消耗品キット	175 6360
Kodak i1100 NCR 給紙消耗品	131 6264
ローラークリーニングパッド（24 枚入り）	853 5981
トランスポートクリーニングシート（50 枚入り）	169 0783
静電クリーニングクロス（数量 6 ボックス、24 枚）	896 5519
Kodak スキャナー用イメージングガイド クリーニング セット	826 6488

注：品名とカタログ番号は、変更される場合があります。

5 トラブルシューティング

目次

問題解決 5-1
インストールに関する問題 5-4
インジケータライト 5-6
サービスセンターへの問い合わせ 5-6

問題解決

スキャナーの機能に関する質問および問題が発生する場合があります。以下のチャートを参照して、ご自分で問題を解決できるか確認してください。また、よくある質問および動画が Kodak Alaris の Web サイト、www.kodakalaris.com/go/IMsupportで利用できます。

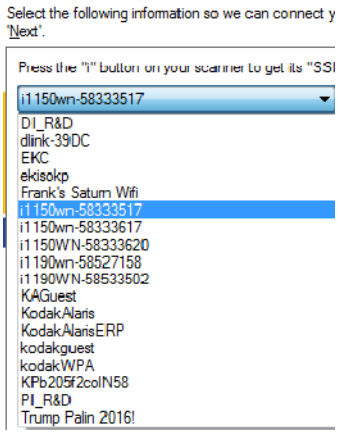
問題	解決方法
紙詰まりが発生している、または、原稿が重送する	以下を確認してください。 • サイドガイドが、スキャンする原稿の幅に合わせて調節されている。 • スキャンする原稿の長さに合わせて出力トレイが調整されている。 • すべての書類が付録 A「仕様」に挙げられたサイズ、重量、タイプに適合しているか確認する。 • スキャナーとタイヤが正しく清掃されている。 • ローラが確実に固定されている。手順については、第 4 章*「メンテナンス」*を参照してください。 **紙詰まりを解消するには**： *重要：詰まった原稿をスキャナーから引っ張り出さず、まずスキャナーカバーを開きます。* • スキャナーカバーを開きます。  • 詰まっている原稿をスキャナ内部から取り出します。 • スキャナーカバーを両手で閉じ、スキャンを再開します。

問題	解決方法
スキャナが原稿をスキャンしない。または給紙しない	以下を確認してください。 • 電源アダプタがスキャナー背面および壁のコンセントにしっかりと接続されている。 • 電源コンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • ソフトウェアのインストール後に PC を再起動している。 • 原稿がフィードローラおよび用紙センサに送られている。
画像が表示されない	• 片面印刷の原稿をスキャンする場合は、スキャンする面を入力トレイに向けて（伏せて）セットします。詳細は第 3 章「スキャン」の「原稿の準備」を参照してください。
画像が正しくクロップされない	• クロッピングオプション **[自動サイズ検知／傾き補正]** または **[自動サイズ検知]** が有効になっているのに、イメージが正しくクロッピングされない場合は、イメージングガイドを清掃してください。第 4 章「メンテナンス」の「イメージングガイドの清掃」を参照してください。
スキャン後に、ローラの跡が原稿に付着する	ローラを清掃してください。手順については、第 4 章 *「メンテナンス」* を参照してください。
イメージの背景に黒いにじみがある	半透明の原稿をスキャンするとき、黒いにじみが画像に現れる場合があります。この問題を最小限に抑えるには、コントラストの値を調整するか、TWAIN の **[ドラフト（固定）]** または ISIS の **[固定処理]** を選択してください。
赤、緑、青の線がカラー写真に入っている	スキャナーが汚れているので清掃する必要があります。手順については、第 4 章「メンテナンス」の「清掃手順」を参照してください。
スキャナーの動作が遅すぎる	• ウイルス対策またはセキュリティスイートソフトウェアを無効にします。問題が解決したら、例外、除外事項の使用および Kodak Alaris フォルダの追加についてウイルス対策またはセキュリティスイートソフトウェアのマニュアルを参照してください。 • スキャナーは USB 2.0 で動作するように規格され、設計されていますが、USB 1.1 ポートでは機能しません。USB 1.1 接続を使用している場合、USB 2.0 に接続をアップデートしてください。 • PC がスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。 • ネットワークの動作が遅いまたはシグナル強度が弱いです。 • ネットワーク帯域が輻輳しています。
スキャナーを検出できない。DVD のインストール処理中は、スキャナーは *利用可能なスキャナー* リストまたは SSID のリストに表示されません。	• 初めてインストールする場合は、スキャナーの検出に 4 分かかる場合があります。 インストールを繰り返して、スキャナーがリストに表示されるのを待ってから選択します。 • ホストはネットワークを自動的に切り替えません。 ホストコンピュータで、リストからネットワークを選択して手動でネットワークを変更し、前の手順に戻ります。
ネットワークを切り替えられない。スキャナー（アクセスポイント）で無線ディレクトリ（アドホック）を使用して DVD をインストールしている間は、ホストコンピュータが使用しているネットワークは切り替わらないか、または間違ったネットワークに切り替わります。	• ホストコンピュータで、リストからネットワークを選択して手動でネットワークを変更し、前の手順に戻ります。

問題	解決方法
スキャナーが利用可能なネットワークのリストにない。スキャナーが無線ディレクトリ（アドホック）ネットワークとして機能している場合は、ホストコンピュータまたは携帯デバイスで利用可能なネットワークのリストに表示されます。	• スキャナーが無線ディレクトリ（アドホック）モードでないと、リストに表示されません。スキャナーの電源を切ってリセットし、リセットボタンを長押しします。オペレータコントロールパネルに***スキャナーのリセット完了***メッセージが表示されるまでリセットボタンを長押しし続け、スキャナーの電源をオンにします。 • スキャナーの背面にあるワイヤレススイッチがオンになっていることを確認します。オフの場合はオンにします。 • 信号強度が低いです。次の問題の「スキャナーの無線信号強度が低い」の解決方法を参照してください。
スキャナーの無線信号強度が低い。無線ネットワーク（インフラストラクチャ）モードでは、スキャナーのオペレータコントロールパネルを表示して、信号強度を決めることができます - バーが1つまたは無し。 無線ダイレクト（アドホック）モードでは、スキャナーに対するホストコンピュータの信号強度を見る必要があります。信号が検出されない場合は、表示されません。	• スキャナーをホストコンピュータ、ネットワークルーター、またはアクセスポイントに対して物理的に動かし、信号強度が改善されるまで続けます。 • ホストコンピュータ、ルーター、またはアクセスポイントの無線が有効で、アンテナが接続されていることを確認します。 • スキャナーの背面にあるワイヤレススイッチがオンになっていることを確認します。オフの場合はオンにします。 • スキャナーとホストコンピュータ、ルーター、またはアクセスポイントの間に障害物がないようにしてください。障害物が金属製または高密度物質の場合は特に影響します。 • スキャナーの電源を切ってすぐに入れ直し、信号強度が改善されたか確認します。必要に応じて、これを数回繰り返します。 • スキャナーの無線信号に干渉する可能性のあるその他の RF（無線周波）ソースを探します。それらは時刻によって異なる場合があります（昼食時間に頻繁に使用される電子レンジや、問題が発生するときに使用されているものはありませんか？）。複数の無線機器が近接している作業場では、無線機器を 60 ～ 90 cm 離すようにしてください。
スキャナーの Web ページを使用して複数のユニットをインストールすることは複雑すぎるため、スキャナーのユーザーはそれぞれスキャナーの構成を理解する必要があります。	• ブラウザに次の URL を入力してコダックアラリスのページを使用してください：www.kodakalaris.com/go/EasySetu 1. 情報を記入して EasySetup PDF ファイルを作成します。 2. PDF ファイルを添付してスキャナーがある場所に送信します。 3. 受信者は PDF 画像を紙のドキュメントとして印刷し、[i] ボタンを長押ししてスキャナーを EasySetup モードにし、EasySetup ページをスキャンします。 4. 終了したら、ホストインストールが完了します。*スキャナーに必要な設定を選択*画面が表示されたら、**すでに設定済み**を選択して、ホスト PC でのインストールを完了します。

インストールに関する問題

DVD に含まれるインストール手順に関して問題がある場合は、下記の表の解決方法を参照してください。

問題	解決方法
コンピュータとスキャナーを接続しようとすると、画面にいつも「検索中 ...」と表示される。	以下を確認してください。 • コンピュータが無線対応で、無線ネットワークカード / アダプタがオンになっている（コンピュータが機内モードでないことを確認します）。 • すべてのアンテナが取り付けられていて、必要に応じて拡張 / 格納されている。 • スキャナーの電源が入っていて、無線ディレクトリアイコンが表示されている。 このアイコンが表示されていない場合は、スキャナーの背面にあるワイヤレススイッチが正しい位置にあることを確認します。スイッチを壊さないようにしてください。 • スキャナーがコンピュータの 1.8 m 以内にある。 この情報が役に立たない場合は、「詳細ヘルプ」のセクションを参照してください。
コンピュータとスキャナーを接続しようとすると、選択リストにスキャナーの「SSID」が表示されない。 	• スキャナーの電源が入っていて、無線ディレクトリアイコンが表示されていることを確認します。 このアイコンが表示されていない場合は、スキャナーの背面にあるワイヤレススイッチが正しい位置にあることを確認します。スイッチを壊さないようにしてください。 • スキャナーがコンピュータの 1.8m 以内にあることを確認します。 • スキャナーの [i] ボタンを押して、表示された「SSID」が検索している SSID であることを確認します。 • コンピュータがスキャナーを検出するのを待ちます。ノイズの多い環境では数分かかる場合があります。スキャナーが検出されると、リストは自動的にアップデートされます。 この情報が役に立たない場合は、「詳細ヘルプ」のセクションを参照してください。

スキャナーの無線信号を使用してスキャナーをネットワークに接続しているのに、スキャナーが*利用可能なスキャナー*リストに表示されない。	• スキャナーの電源が入っていて、無線ネットワークアイコンが表示されていることを確認します。 このアイコンが表示されていない場合は、スキャナーの背面にあるワイヤレススイッチが正しい位置にあることを確認します。スイッチを壊さないようにしてください。 • コンピュータがネットワークに正しく接続されていることを確認します。 • スキャナーを無線ネットワークのルーター/サーバの近くに置くようにします（1.8 m 以内）。 • スキャナーに無線ネットワークのエラーアイコンが表示さている場合、 スキャナーはネットワークへの接続をまだ試みています。これには数分かかることがあります。 • スキャナーの [i] ボタンを押して、表示された「名前」が検索している名前であることを確認します。スキャナーでスクロールダウンして、適した「無線アドレス」があることを確認することもできます。 • コンピュータがスキャナーを検出するのを待ちます。ノイズの多い環境では数分かかる場合があります。スキャナーが検出されると、リストは自動的にアップデートされます。 • スキャナーの内部設定を確認して、ネットワークの設定に合うように設定されているか確認したい場合は、スキャナーの設定タイプがリストアップされている画面に戻って設定を確認し、**必要な設定**を選択できます。 この情報が役に立たない場合は、「詳細ヘルプ」のセクションを参照してください。

詳細ヘルプ

- スキャナーの電源をオフにしてからオンにします。コンピュータも再起動させます。オプションがある場合は、無線ルーターも同様に電源を切って入れ直すことができます。それを行うときは、スキャナーのプログラムグループのインストーラー、または「スキャナーのセットアップと接続」アプリケーションを再実行して、問題が解決されたかどうかを確認します。
- どんな方法を使ってもスキャナーを検出できない、または通信できない場合は、次の手順でリセットできます。

  1. スキャナーの電源が入っている場合は、電源が切れるまで [電源] ボタンを長押しします。
  2. スキャナーの背面の [リセット] ボタンを長押しします。
  3. [リセット] ボタンを押したまま、スキャナーの前面にある [電源] ボタンを押して放し、スキャナーの電源を入れます。
  4. スキャナーの OCP に設定がリセットされたことを示すテキストが表示されるまで待ちます。
  5. [リセット] ボタンを放します。

- 無線または有線接続を使用してスキャナーにアクセスしようとして、リストにスキャナーが見つからない場合は、スキャナーが使用しているサブネットと異なるサブネット上にあるか、またはスキャナーを検出するのに必要な情報がファイヤーウォールで抑制されている場合があります。この場合は、高度な接続オプションの 1 つを選択し、コンピュータを直接スキャナーに接続できるかどうか確認してください。

- ネットワーク接続を作動できない場合は、USB ケーブルでスキャナーを接続することを検討してください。
- 会社の IT サポートにお尋ねください。
- この情報が役に立たない場合は、以下を参照してください。
  - ユーザーマニュアルへのリンク
  - オンラインヘルプへのリンク
  - 連絡先の情報

インジケータライト

緑色で点灯：スキャナーが準備完了またはスキャンを実行しています。

緑色で点滅：スキャナーが初期化中です。

赤色で点滅：スキャナーがエナジースター/ 低電力モードであることを示します。

赤色で点灯：オペレータコントロールパネルに表示される紙詰まりなどのスキャナーのエラーを示します。エラーを解決できない場合は、スキャナーの電源を切り、再起動します。問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。

サービスセンターへの問い合わせ

サービスへのお問い合わせ前に、Kodak Alaris の Web サイトへアクセスしてよくある質問および動画を確認してください。

1. サポートは以下へアクセスしてください。

   www.kodakalaris.com/go/i1150WNsupportまたは

   www.kodakalaris.com/go/i1190WNsupport

2. www.kodakalaris.com/go/IMsupport にアクセスして、お住まいの国の最新の電話番号を入手してください。
3. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
   •障害の内容
   •スキャナのモデルとシリアル番号
   •コンピュータの構成
   •使用しているアプリケーションソフトウェア

付録 A　　仕様

この付録では、スキャナーの仕様とシステム要件について記載しています。

スキャナーの種類／速度（ドライバ、アプリケーションソフトウェア、OS または PC により処理速度が変動する場合があります）	***Kodak ScanMate* i1150WN スキャナー** — 毎分 30 ページ（白黒、カラー、グレースケール 200/ 300 dpi）両面スキャン可能な無線 / ネットワークスキャナーで、「バースト」機能により最初の 10 件の文書を毎分 40 ページで処理できます。 ***Kodak* i1190WN スキャナー** — 毎分 40 ページ（白黒、カラー、グレースケール 200/ 300 dpi）両面スキャン可能な無線 / ネットワークスキャナーです。
スキャンテクノロジー	デュアル LED 間接光 グレースケール出力 256 階調 (8 bit) カラー読み取り階調 48 bit (16 x 3) カラー出力階調 24 bit (8 x 3)
光学解像度	600 dpi
出力解像度	100、150、200、240、250、300、400、500、600、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	シングル / マルチページ TIFF、JPEG、RTF、BMP、PDF、サーチャブル PDF
最小書類サイズ：	63.5 x 50 mm（2.5 x 2 インチ）- 縦向きでスキャナーへ給紙する必要があります。
最大書類サイズ：	215 x 279.4 mm 長尺原稿モード：最大 203.2 cm（80 インチ）
写真の重量	34 g/m^2 ～ 413 g/m^2 ID カードの厚さ、最大 1.25 mm
フィーダ積載枚数	運転免許証や健康保険証などの ID カードやクレジットカードなどのエンボス付きプラスチックカードなどの小さい原稿にも対応。入力トレイは 75 枚収容。
一日の推奨処理枚数	i1150WN スキャナー - 1 日 3000 ページ i1190WN スキャナー - 1 日 5000 ページ
光源	LED
ドキュメント検知	超音波（重送用） インテリジェント ドキュメント プロテクション
アダプタ電気定格	**入力**：100 ～ 240 VAC（国際）、50/60 Hz、最大 0.9 A **出力**：DC 24 V、⎓ 1.5 A
外形寸法	**高さ**：246 mm（入力トレイを除く） **幅**：330 mm **奥行き**：162 mm（入力トレイと出力トレイを除く）
重量	3.2 kg（7 ポンド）
インタフェース	無線、イーサネット、USB 2.0
ネットワークプロトコル	10/100 Base T イーサネット 802.11 b/g/n – 2.4 GHz ネットワーク
ネットワークセキュリティ	WEP WPA-PSK [TKIP] WPA2-PSK [AES] WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]
動作温度	15 ～ 35 ℃
湿度	15 ～ 85% RH

環境要因	Energy Star 認証スキャナー
消費電力 ー スキャナー	オフモード時：0.2 W 未満 動作時：28 W 未満 アイドル / レディ時：15 W 未満 スリープ / エナジースター 3.5 W 未満
騒音レベル （音圧レベル）	動作時：64 dB(A) 未満 アイドルモード：41 dB(A) 未満
同梱ソフトウェア	TWAIN、ISIS、WIA ドライバ、スマートタッチ、*Kodak* Capture Pro Software Limited Edition TWAIN ドライバは www.kodakalaris.com/go/scannersから入手できます。 ScanMate+モバイルアプリはwww.kodakalaris.com/go/scannersから入手できます。

システム要件

Kodak ScanMate i1150WN および i1190WN スキャナーの利用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

- Intel Atom D525/D2550、1.8 GHz
- 2 GB の RAM
- ネットワークカード（有線または無線）
- USB 2.0 High Speed

ScanMate+ モバイルアプリのオペレーティングシステムサポート：

- iOS 7.1
- iOS 8.3
- iOS 8.4
- iOS 9.2
- Android 4.2
- Android 4.4
- Android 5.0

サポートされているオペレーティングシステム：

- Microsoft Windows Vista SP1
- Microsoft Windows Vista x64 Edition
- Microsoft Windows 7（32bit および 64bit）with SP1
- Microsoft Windows 8 と 8.1（32/64bit）
- Microsoft Windows 10（32bit および 64bit）
- Microsoft Windows 2008 Server x64 Edition
- Microsoft Windows 2012 Server x64 Edition

ドライバ：

- Windows OS：TWAIN、ISIS、WIA

付録 B　　保証 ー米国、カナダ限定

Kodak スキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。*Kodak* スキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべての *Kodak* スキャナーは次の限定保証の対象となります。

Kodak スキャナーの限定保証

Kodak Alaris 社は、Kodak Alaris または Kodak Alaris 認定小売チャネルを通じて販売された、*Kodak* スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris 社は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*Kodak* スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の *Kodak* スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての *Kodak* スキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していない *Kodak* スキャナーは、Kodak Alaris の判断により、修理、新製品または代替製品と交換いたします。

購入者は、www.kodakalaris.com/go/disupportにアクセスする、または *Kodak* スキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードを見て、購入した *Kodak* スキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

Kodak Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に *Kodak* スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) Kodak Alaris にスキャナーを送り返す際に、現行の Kodak Alaris の梱包と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) Kodak Alaris、または Kodak Alaris の正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Kodak Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に従わなかった、Kodak Alaris の承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリの使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼動環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電（ESD）保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.kodakalaris.com/go/disupport) で確認可能。

Kodak Alaris では、米国およびカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Kodak Alaris では、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

Kodak Alaris では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの Kodak Alaris が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、またこれに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

Kodak スキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読むことで、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られます。ただし、追加のテクニカルサポートが必要な場合は、当社の Web サイト www.kodakalaris.com/go/disupportへアクセスいただくか、次へご連絡ください。

Kodak Alaris サポートセンター：**(800) 822-1414**

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者は *Kodak* スキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題が *Kodak* スキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるか、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*Kodak* スキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Kodak Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は *Kodak* スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。Kodak Alaris はこれらの品目について責任を負わず、修理または交換した *Kodak* スキャナーと一緒に返送されません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Kodak Alaris に返送してください。購入者は *Kodak* スキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる *Kodak* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号 (RMA) を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*Kodak* スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。Kodak Alaris では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

Kodak Alaris は限定保証をサポートし、*Kodak* スキャナーの使用および取り扱い（サービス方法）を支援する、様々なサービスプログラムを提供しています。*Kodak* スキャナーは重要な投資です。*Kodak* スキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、Kodak Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

選択した *Kodak* スキャナーには限定保証登録カードと限定保証概要カードが付属しています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定の *Kodak* スキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、ネット上 (www.kodakalaris.com/go/disupport) で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが見当たらない場合は、ネット上 (www.kodakalaris.com/go/disupport) で登録できます。

Kodak Alaris はまた、*Kodak* スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

Kodak Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

出張サービス

選択した *Kodak* スキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、Kodak Alaris の技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/IM) を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施されています。

AUR（アドバンスユニット交換）

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の *Kodak* スキャナーの該当する購入者に対し、Kodak Alaris は 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のある *Kodak* スキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者は RMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、Kodak Alaris が署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから 10 日以内に Kodak Alaris に届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、Kodak Alaris が送料を負担し、輸送手段を選択します。Kodak Alaris の指示や、Kodak Alaris が希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品を Kodak Alaris に返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

Kodak スキャナーが AUR またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄の正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、Kodak Alaris に返送してください。*Kodak* スキャナーは、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。*Kodak* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から (10 営業日以内に Kodak の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*Kodak* スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA（Return Material Authorization）番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

資格：アドバンス交換プログラムおよびディーポサービスは米国 50 州の該当する購入者が利用でき、オンサイトサービスは隣接した 48 州、アラスカおよびハワイの特定の領域で Kodak Alaris の認定ディストリビュータから購入した製品に対して利用できます。*Kodak* スキャナーは、購入者が Kodak Alaris のその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品が Kodak Alaris のその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、*Kodak* スキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザーによって交換される品目です。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

Kodak Alaris へのお問い合わせ

Kodak スキャナーに関する情報：

Web サイト：www.kodakalaris.com/go/IM

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 5 時から午後 5 時まで営業しています。
電話：(800) 822-1414

技術文書と FAQ（24 時間）：

Web サイト：www.kodakalaris.com/go/IM

サービスプログラム情報：

Web サイト：www.kodakalaris.com
電話：(800) 822-1414

Kodak Alaris Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615

© 2016 Kodak Alaris Inc.
All rights reserved. TM: ScanMate
コダックの商標およびトレードドレスはイーストマンコダック社の許可を受けて使用しています。